

金武町

公共施設等総合管理計画

沖縄県
金武町

平成 29 年 3 月

目次

第1章 まちの概要	1
金武町の位置と姿	2
産業	3
人口動向の分析	4
財政状況	7
第2章 公共施設等の現状と将来見通し	10
対象施設	11
築年別整備状況	16
将来の更新費用見通し	17
第3章 公共施設等総合管理計画の目的等	20
目的	21
計画の位置付け	21
計画期間	22
第4章 推進体制	23
全庁的な取り組み	24
情報管理・共有方策	24
第5章 基本方針	25
基本方針	26
公共施設等の維持管理方針	32
第6章 施設類型毎の基本方針	35
建物系施設	36
インフラ系施設	68

第1章

まちの概要

金武町の位置と姿

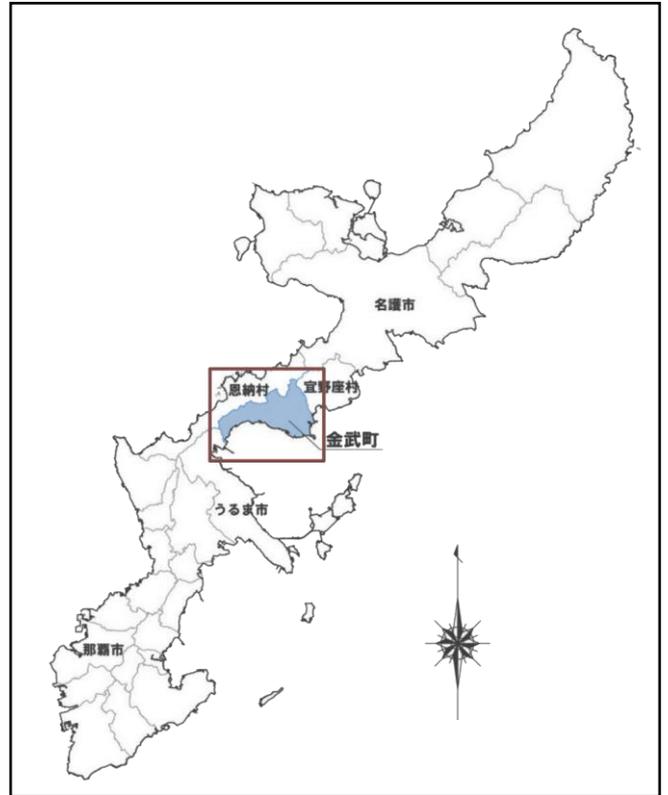
金武町は沖縄本島のほぼ中央部東海岸側に位置し、北部地域と中南部地域を結ぶ結節点となっています。また、北東側は宜野座村に接し、北西側は恩納村、南西側はうるま市、南東部は金武湾に面しています。

金武町の総面積は 37.87 km²で、地形は、北側の恩納岳 (363m) をはじめ、ティーチュ岳 (177m)、ブートウ岳 (214m)、ジャフン岳 (250m)、屋嘉岳 (202m)、石川岳 (208m) の山々を擁し、全体的に南東に向かってゆるやかな台地丘陵地が広がり、海岸低地へと続いています。

また、これらの山々を源とする7つの小河川が海岸線に向かって南北方向に流れ、谷筋を形成し地形に変化を与えています。これらの河川沿いには水田などの農地が広がり、田園風景を醸し出しています。

気候は亜熱帯海洋性気候帯に属しており、四季を通じて温暖です。1979年から2000年までの沖縄気象台金武観測所の観測データによると、年平均気温は22.5°Cで、月平均気温の最低は2月の16.2°C、最高は7月の28.6°Cとなっています。また、年平均降雨量は1,864 mmとなっています。

【資料】第5次金武町総合計画 基本構想



米軍基地

産業

産業別の就業者数をみると、平成22年現在の就業者総数は4,354人で、そのうち第一次産業は570人（13.1%）、第二次産業は725人（16.7%）、第三次産業は3,011人（69.2%）となっています。第一次産業の就業者割合は平成17年と比較して減少しており、第三次産業就業者の割合は増加しています。第二次産業の就業者割合は、増減を繰り返しながら、ほぼ横ばいで推移しています。

産業別就業構造

	平成12年		平成17年		平成22年		沖縄県の構成比(%)
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	
就業者総数	3,730	100%	4,277	100%	4,354	100%	100%
第一次産業	492	13.2%	691	16.2%	570	13.1%	5.0%
農業・林業	444	11.9%	631	14.8%	502	11.5%	4.5%
漁業	48	1.3%	60	1.4%	68	1.6%	0.5%
第二次産業	788	21.1%	721	16.9%	725	16.7%	14.0%
鉱業	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0.0%
建設業	670	18.0%	602	14.1%	561	12.9%	9.2%
製造業	118	3.2%	119	2.8%	163	3.7%	4.8%
第三次産業	2,445	65.5%	2,865	67.0%	3,011	69.2%	72.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	34	0.9%	26	0.6%	31	0.7%	0.5%
情報通信業	-	-	17	0.4%	31	0.7%	2.0%
運輸・通信業	150	4.0%	132	3.1%	132	3.0%	4.9%
卸売・小売業	690	18.5%	445	10.4%	435	10.0%	14.9%
金融・保険業	29	0.8%	33	0.8%	34	0.8%	1.9%
不動産業	19	0.5%	14	0.3%	27	0.6%	1.9%
サービス業	1,307	35.0%	1,931	45.1%	2,017	46.3%	40.7%
公務	216	5.8%	267	6.2%	304	7.0%	5.4%
分類不能	5	0.1%	0	0.0%	48	1.1%	8.7%

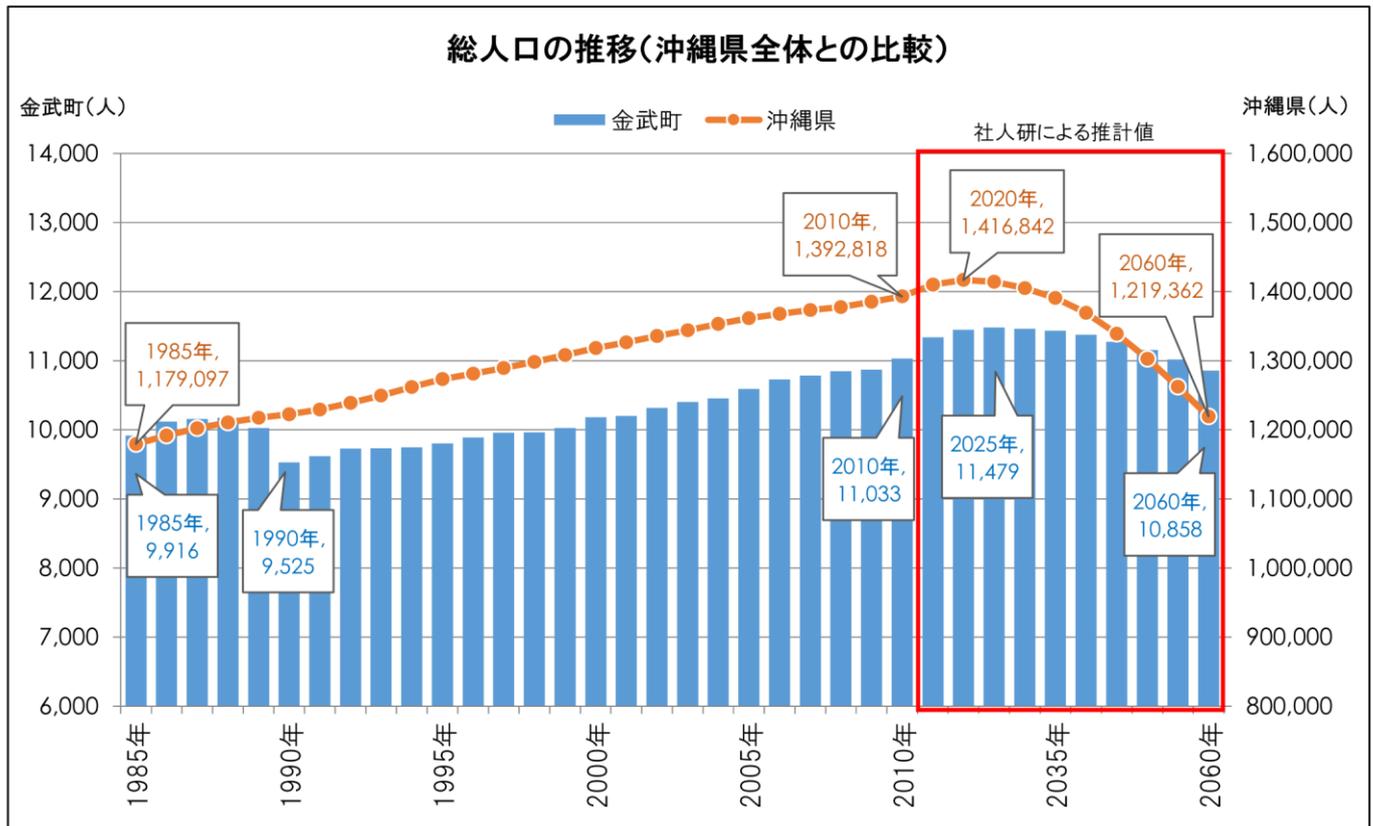
資料：国勢調査

【資料】第5次金武町総合計画 基本構想

人口動向の分析

①総人口の推移

国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計では、2025（平成37）年の11,479人をピークに減少に転じる見込みとなっており、2060（平成72）年には10,858人程度の人口になると予測されています。この人口減少の度合いは、沖縄県全体の人口減少度合いと比較すると、ゆるやかな見込みとなっており、金武町においては人口減少社会の到来まで比較的余裕があると言えます。



出典：沖縄県企画部統計課「推計人口」/2015(平成27)～2060年については、まち・ひと・しごと創生本部「地域経済分析システム(RESAS)」におけるパターン1(社人研推計準拠)の数値を用いた。

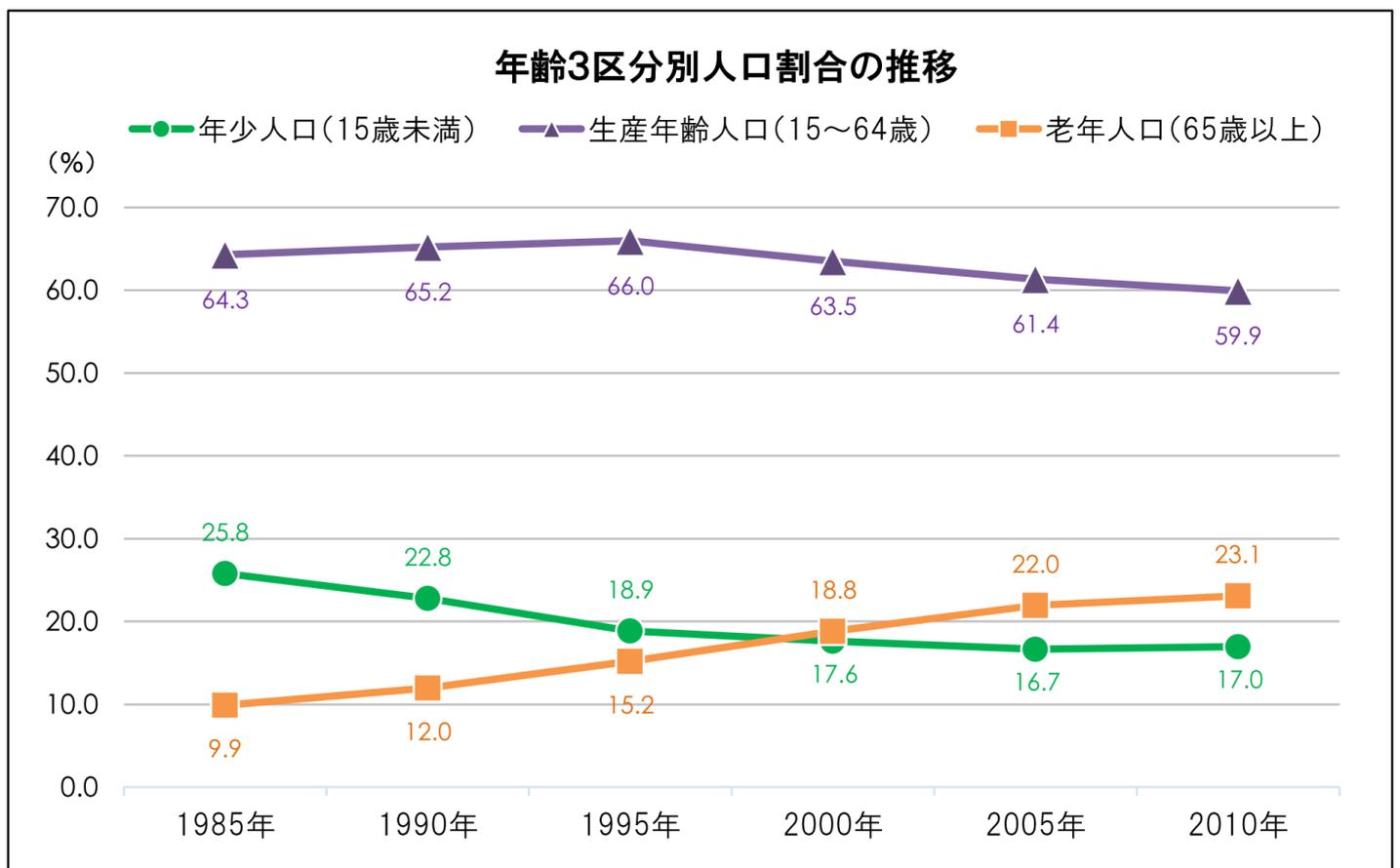
※1：各年10月1日現在の推計人口である。

【資料】金武町人口ビジョン

②年齢3区分別人口割合の推移

年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）の3区分から本町の人口動向をみると、1985年（昭和60年）時点では、生産年齢人口割合が64.3%と大半を占め、老年人口の割合は9.9%でした。しかし、徐々に年少人口割合の低下と老年人口割合の増加が進行し、2000年（平成22年）からは老年人口割合が、年少人口割合を上回っています。

世界保健機構（WHO）の定義では、総人口に占める老年人口の割合を高齢化率といい、高齢化率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」といいます。本町においては、2005（平成17）年に老年人口の割合が22.0%となり、超高齢社会に突入しています。



出典：総務省統計局「国勢調査」

【資料】金武町人口ビジョン

③人口対策を講じない場合の影響

(1) 地域コミュニティへの影響

人口減少の大きな原因は、若者の流出（若者が戻ってこない）に起因するため、地域づくりの担い手となる若年層が減少し、高齢化が進行すると考えられます。そのため、地域行事や伝統芸能・祭祀等の維持・継承が困難になることが懸念されます。また、青年会などの地域活動の中心となる世代の欠落は、地域コミュニティの維持そのものを危うくし、地域紐帯の希薄化や地域への愛着心が薄れていく危険性もはらんでいます。

(2) 地域経済への影響、都市（生活）サービスへの影響

人口が減少することは消費者の減少を意味しており、この点は地域経済へ直接的に影響します。農業等の生産業の分野でも、後継者不足が懸念され、地域経済の停滞は避けられない状況となります。地域で商売ができなくなることは、更なる人口減少を引き起こす負のスパイラルの入り口となります。

また、消費者が減少すれば、地域の小さな商店や病院サービス、塾・習い事、公共交通などの生活に必要なサービスの確保が難しくなることが懸念されます。

(3) 行政サービスへの影響

人口減少や経済活動の縮小によって、町の税収入は減少することが考えられますが、一方、高齢化の進行による社会保障の増額が予測されます。本町の財政への影響は大きいと考えられ、これまで提供できていた行政サービスが提供できなくなる、あるいは有料化する可能性があり、町民の生活利便性の低下が懸念されます。

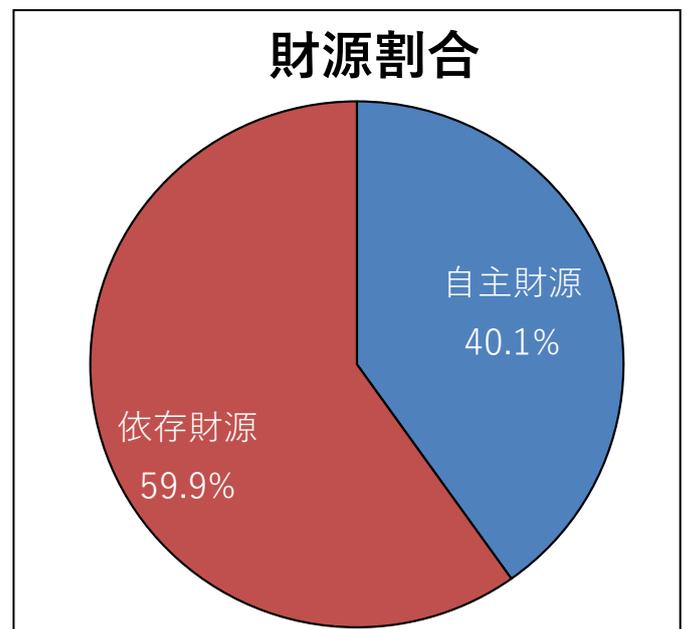
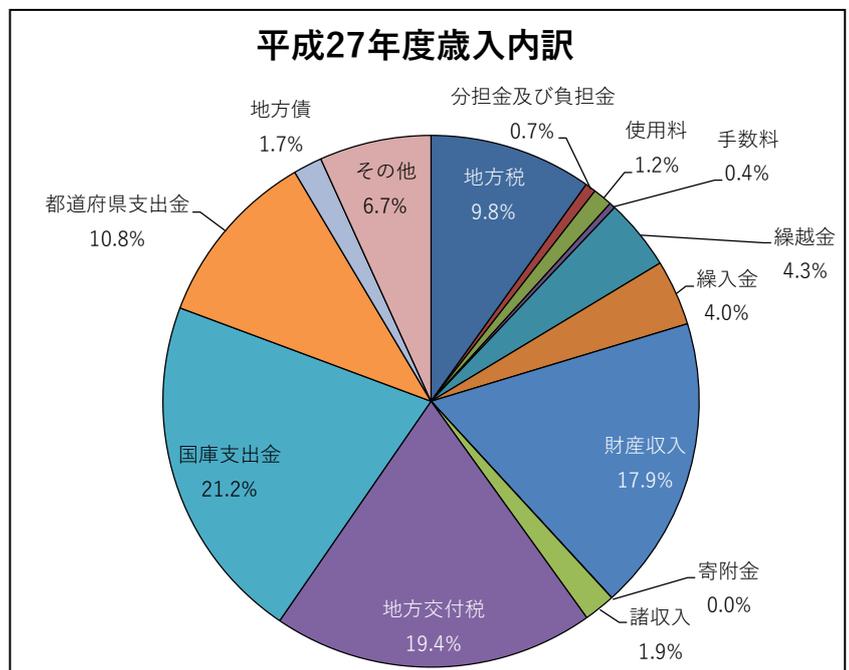
【資料】金武町人口ビジョン

財政状況

①平成27年度歳入決算額

平成27年度決算における金武町の財政状況を見てみると、歳入が約112億円となっています。財産収入、地方交付税、国庫支出金、都道府県支出金で全体の69.3%を占めています。

歳入決算の内訳（単位：千円）	
区分	平成27年度
自主財源	4,528,667
地方税	1,108,357
分担金及び負担金	73,603
使用料	132,021
手数料	40,581
繰越金	484,510
繰入金	450,307
財産収入	2,023,674
寄附金	1,270
諸収入	214,344
依存財源	6,754,788
地方交付税	2,190,204
国庫支出金	2,388,253
都道府県支出金	1,219,251
地方債	196,200
その他	760,880
歳入合計	11,283,455



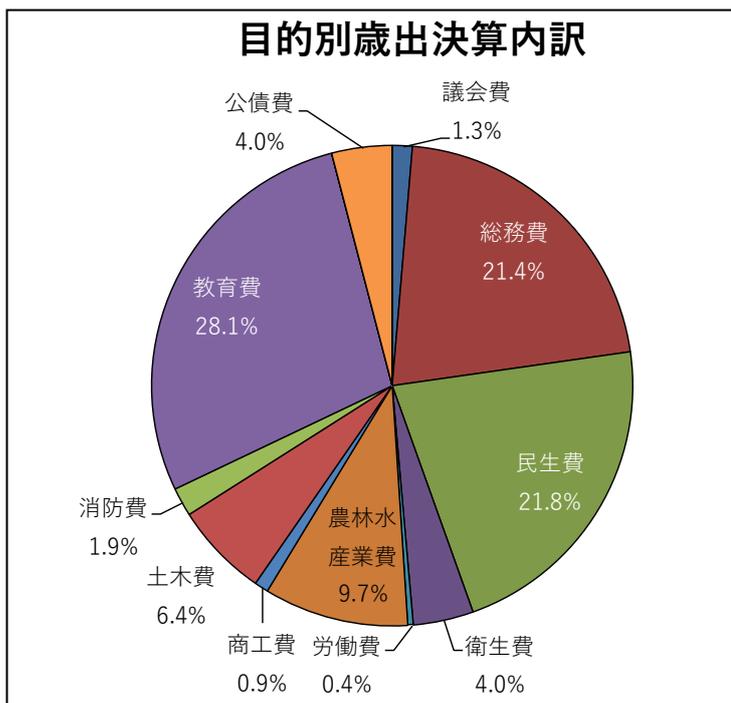
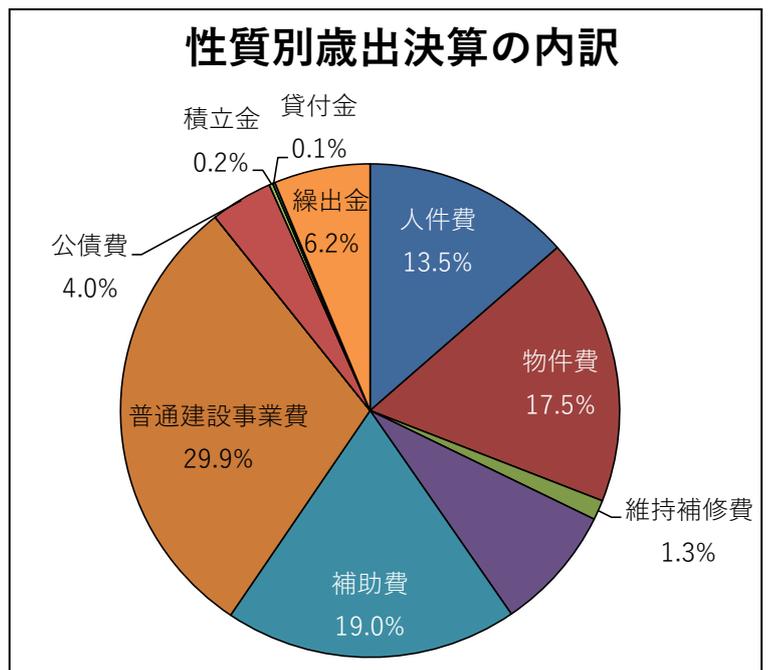
財源の内訳には自主財源と依存財源があります。自主財源とは、自治体が自主的に収入出来る財源となります。これに対して、依存財源は国や県より付される財源となります。金武町では59.9%の財源を国や県に依存していることが分かります。

なお、自主財源である財産収入の割合は軍用地収入によって高くなっています。

②平成27年度歳出決算額

平成27年度決算の歳出額は約106億円となっています。性質別（何に使用したか）で見ると、普通建設事業費が最も多く、補助費、物件費が続きます。普通建設事業費とはインフラ施設を含む施設整備に係る費用のことです。目的別（どの分野に使用したか）では教育費、民生費、総務費が多くなっています。

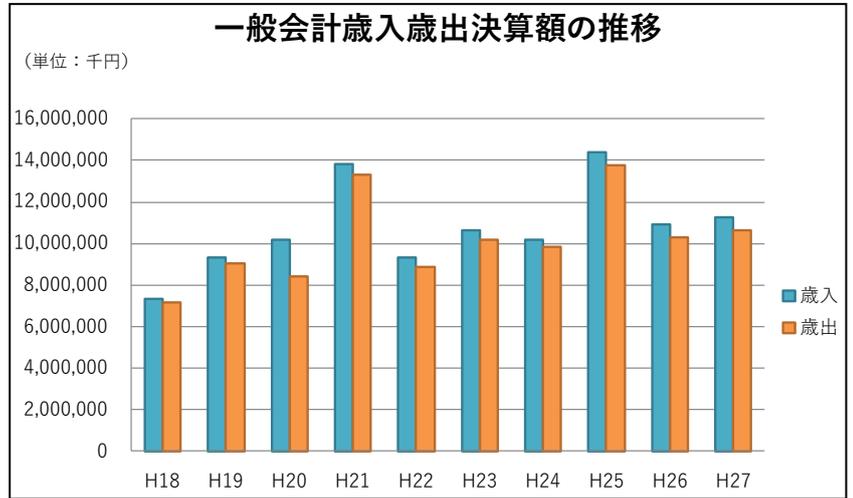
区 分	平成27年度
人件費	1,438,402
物件費	1,857,517
維持補修費	138,085
扶助費	869,571
補助費	2,024,783
普通建設事業費	3,182,920
災害復旧事業費	0
公債費	430,487
積立金	26,427
投資及び出資金	0
貸付金	15,030
繰出金	663,256
歳出合計	10,646,478



区 分	平成27年度
議会費	142,933
総務費	2,277,673
民生費	2,323,433
衛生費	430,612
労働費	39,057
農林水産業費	1,032,298
商工費	99,879
土木費	677,813
消防費	205,762
教育費	2,986,480
災害復旧費	0
公債費	430,487
諸支出金	51
歳出合計	10,646,478

③歳入歳出の推移

歳入歳出の推移を見ると、全体的に増加傾向であることが分かります。過去10年の歳入の平均額は約107億円、歳出が約101億円となっていますが、平成21年度には地域活性化・経済危機対策臨時交付金、平成25年度は一括交付金による事業のため歳入、歳出ともに突出した金額となっています。



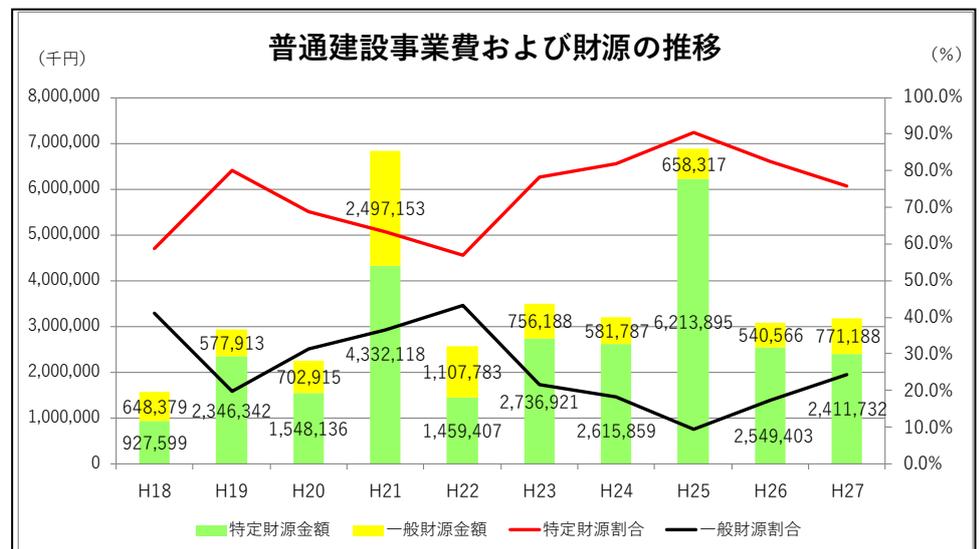
④普通建設事業費の推移

施設整備に係る普通建設事業費の推移をみると、平成21年度および平成25年度は他の年度の約2倍となっており、施設整備事業が歳入歳出全体に影響を与えていることが分かります。

過去10年の普通建設事業費の平均額は約36億円であり、財源の内訳をみると、特定財源が73.7%、一般財源が26.3%となっています。

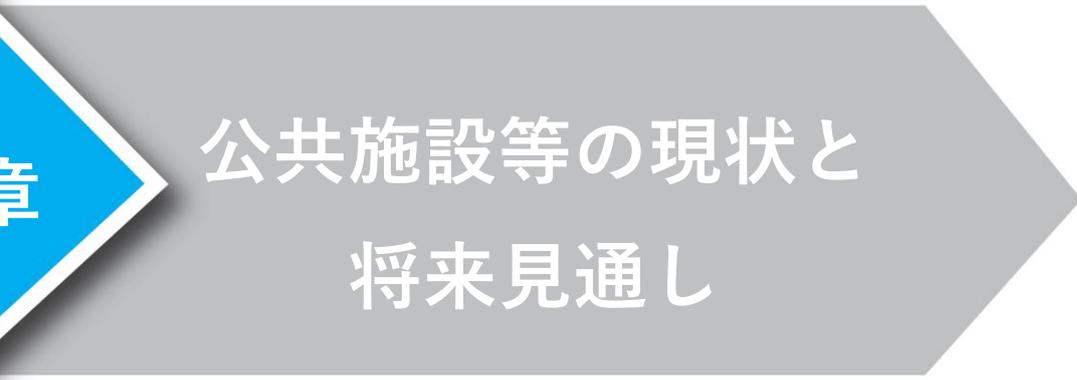
年度	普通建設事業費	財源内訳			
		特定財源		一般財源	
		金額 (千円)	割合	金額 (千円)	割合
H18	1,575,978	927,599	58.9%	648,379	41.1%
H19	2,924,255	2,346,342	80.2%	577,913	19.8%
H20	2,251,051	1,548,136	68.8%	702,915	31.2%
H21	6,829,271	4,332,118	63.4%	2,497,153	36.6%
H22	2,567,190	1,459,407	56.8%	1,107,783	43.2%
H23	3,493,109	2,736,921	78.4%	756,188	21.6%
H24	3,197,646	2,615,859	81.8%	581,787	18.2%
H25	6,872,212	6,213,895	90.4%	658,317	9.6%
H26	3,089,969	2,549,403	82.5%	540,566	17.5%
H27	3,182,920	2,411,732	75.8%	771,188	24.2%
平均	3,598,360	2,714,141	73.7%	884,219	26.3%

特定財源とは、使い道があらかじめ決められている収入であり、特に決まっていないものを一般財源と言います。





第2章



公共施設等の現状と
将来見通し

対象施設

①建物系施設

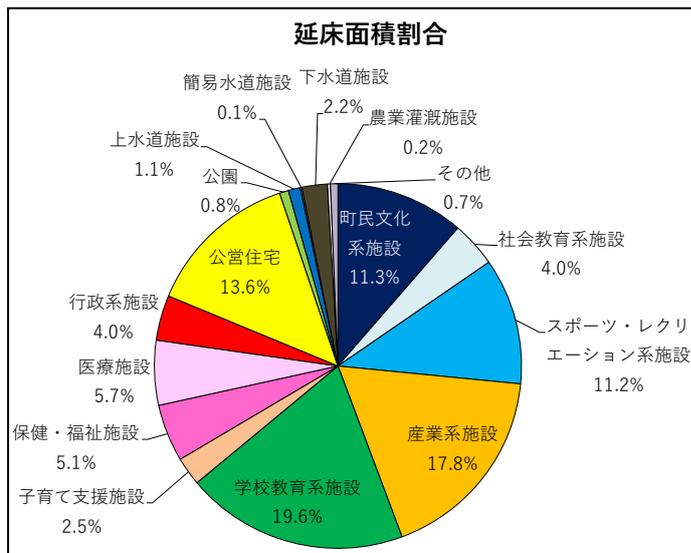
平成28年度末時点で金武町が保有している全施設を対象とします。施設は、町民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設、学校教育系施設、子育て支援施設、保健・福祉施設、医療施設、行政系施設、公営住宅、公園、上水道施設、簡易水道施設、下水道施設、農業灌漑施設、その他の16に分類し整理しました。

(1) 施設の数量

金武町の施設は120施設、256棟あります。金武町における施設のうち、件数では産業系施設および公園が22件と最も多くなっていますが、延床面積の割合では、学校教育系施設が19.6%で最も多くなります。

番号	分類	施設数	棟数	延床面積 (㎡)
1	町民文化系施設	8	13	13,349
2	社会教育系施設	5	7	4,739
3	スポーツ・レクリエーション系施設	12	32	13,196
4	産業系施設	22	48	20,907
5	学校教育系施設	5	28	23,100
6	子育て支援施設	5	8	2,965
7	保健・福祉施設	3	4	5,977
8	医療施設	3	3	6,758
9	行政系施設	1	10	4,717
10	公営住宅	7	28	15,989
11	公園	22	32	929
12	上水道施設	8	18	1,254
13	簡易水道施設	1	3	167
14	下水道施設	3	3	2,643
15	農業灌漑施設	2	6	292
16	その他	13	13	770
総計		120	256	117,752

※施設数は建物を所有していない施設も含む



第2章

公共施設の現状と将来見通し

○対象施設（建物を所有している施設）

分類	施設名
町民文化系施設	・金武町立中央公民館 ・金武町立金武地区公民館 ・金武町立並里地区公民館 ・金武町立中川地区公民館
	・金武町立伊芸地区公民館 ・金武町立屋嘉地区公民館 ・金武町伊芸地区集会所
	・金武区学習等供用施設（金武公会堂）
社会教育系施設	・金武町立図書館 ・金武町教育文化センター ・金武町並里地区青年・婦人会館 ・文化資料収蔵庫 ・當山記念館
スポーツ・レクリエーション系施設	・金武町立武道館 ・金武町営プール ・金武町陸上競技場（管理事務所、倉庫、トイレ） ・金武町立体育館
	・中川体育施設備品倉庫 ・金武町ベースボールスタジアム（投球練習場）
	・金武町フットボールセンター（クラブハウス、施設管理倉庫、トイレ） ・ネイチャーみらい館
産業系施設	・金武町特産品加工施設 ・金武町特産品物産センター ・喜瀬武原地区農民集会所 ・屋嘉地区共同作業施設
	・金武町商工業研修等施設 ・金武町研修施設 ・金武養豚団地 ・金武町堆肥センター ・バキュームカー車庫
	・堆肥舎 ・前原地区家畜ふん尿処理施設 ・金武区家畜ふん尿処理施設 ・伊芸区家畜ふん尿処理施設
	・並里区家畜ふん尿処理施設 ・屋嘉区家畜ふん尿処理施設 ・屋嘉区家畜ふん尿処理施設2 ・漁村総合センター
	・漁船保全修理施設 ・荷捌場施設 ・作業用建物及び管理棟（町営苗畑）
	・金武町特用林産物（ぶなしめじ）生産出荷施設
学校教育系施設	・金武小学校 ・中川小学校 ・嘉芸小学校 ・金武中学校 ・町給食センター
子育て支援系施設	・金武幼稚園金武保育所 ・中川幼稚園 ・嘉芸幼稚園 ・嘉芸保育所 ・子育て支援センター
保健・福祉施設	・金武町総合保健福祉センター ・金武町フィッティングセンター ・金武町海洋療法児童リハビリセンター
医療系施設	・金武町立診療所 ・金武町地域医療施設 ・金武町ヘルスケアセンター
行政系施設	・金武町役場
公営住宅	・金武町営住宅屋嘉団地 ・金武町営住宅中川団地 ・金武町営住宅中川第2団地 ・金武町営住宅浜田団地
	・金武町営住宅中川第3団地 ・金武町営住宅屋嘉第2団地 ・金武町住宅営並里団地
公園	・金武児童公園（トイレ、休憩所、倉庫、東屋） ・中川児童公園（野外舞台） ・大川児童公園（トイレ、休憩所）
	・屋嘉西児童公園（展望台、東屋、トイレ） ・金武地区公園（トイレ） ・伊芸地区公園（休憩所、東屋、トイレ）
	・浜田原公園（トイレ） ・モーシヌ森公園（トイレ） ・オランダ森緑地公園（東屋、トイレ）
	・伊芸海浜公園（管理棟、トイレ） ・中川近隣公園（トイレ、休憩所、倉庫） ・上ヌ毛公園（展望台、トイレ）
	・がじまる公園（トイレ） ・金武アクティブパーク（管理事務所） ・スポーツ広場（公衆浴場、トイレ、休憩所）
	・仲畑慶原公園（東屋） ・雄飛が丘ふれあいガーデン（東屋）
上水道施設	・金武浄水場 ・並里浄水場 ・中川浄水場 ・喜瀬武原浄水場 ・屋嘉浄水場 ・屋嘉導水ポンプ場
	・金武ポンプ場 ・大川水源ポンプ室
簡易水道施設	・伊芸地区簡易水道施設
下水道施設	・伊芸地区農業集落排水処理施設 ・屋嘉地区農業集落排水処理施設 ・並里・金武地区農業集落排水処理施設
農業灌漑施設	・屋嘉地区灌漑施設（揚水機場） ・宇謝/前原地区灌漑施設（ポンプ小屋、水位調整弁小屋、流量制御弁小屋）
その他	・金武町葬斎場 ・金武火葬場 ・宮城原霊園（納骨堂、トイレ） ・シッチ霊園（トイレ） ・屋嘉霊園（トイレ）
	・武田原公衆トイレ① ・武田原公衆トイレ② ・福花原公衆トイレ① ・福花原公衆トイレ②
	・ごみ処理場管理小屋 ・いしじゃ公衆トイレ

(2) 施設の分布状況

主に金武区と並里区に施設が集中しており、産業系施設や公園施設はどの行政区にも分布しています。また主要道路である国道329号線沿いに施設が多く分布していることも分かります。

※公園については建物を所有していない公園も含まれます。



- | | | | | |
|------------|-----------|--------------------|----------|-----------|
| ○ 町民文化系施設 | ○ 社会教育系施設 | ○ スポーツ・レクリエーション系施設 | ○ 産業系施設 | ○ 学校教育系施設 |
| ○ 子育て支援系施設 | ○ 保健・福祉施設 | ○ 医療施設 | ○ 行政系施設 | ○ 公営住宅 |
| ○ 上水道施設 | ○ 簡易水道施設 | ○ 下水道施設 | ○ 農業灌漑施設 | ○ その他 |
| | | | | ■ 米軍基地 |

第2章

公共施設の現状と将来見通し

②インフラ系施設

インフラ系施設の保有状況については以下の通りです。

施設分類		数量等
町道	幹線道路(1級)	路線数: 13 総延長: 15,172m 総面積: 119,659 m ²
	補助幹線道路(2級)	路線数: 24 総延長: 12,504m 総面積: 74,486 m ²
	地区内道路(その他)	路線数: 306 総延長: 61,498m 総面積: 321,149 m ²
農道	金武地区	路線数: 38 総延長: 6,679m 総面積: 29,287 m ²
	並里地区	路線数: 53 総延長: 11,557m 総面積: 63,756 m ²
	中川地区	路線数: 17 総延長: 3,824m 総面積: 15,144 m ²
	伊芸地区	路線数: 22 総延長: 4,255m 総面積: 19,256 m ²
	屋嘉地区	路線数: 125 総延長: 26,572m 総面積: 112,695 m ²
橋梁		総数: 26 総延長: 384m 総面積: 224 m ² ※徳首川プロムナード橋梁を含む
上水道施設	導水施設 導水管	導水管: 8,539m ポンプ施設: 11 箇所
	送水施設 送水管	総延長: 13,916m ポンプ施設: 1 箇所
	配水施設 配水管	総延長: 88,265m 配水池: 10 箇所
簡易水道施設	導水施設 導水管	導水管: 780m
	送水施設 送水管	総延長: 594m
	配水施設 配水管	総延長: 6,044m
下水道施設	伊芸地区	下水道管: 87,725m ポンプ施設: 5 箇所
	屋嘉地区	下水道管: 16,200m ポンプ施設: 8 箇所
農業灌漑施設	宇謝/前原地区	管水路: 21,280m 排水路: 8,822m 幹線用配水路: 4,740m ファームポンド: 1 箇所
	屋嘉地区	管水路: 26,267m ファームポンド: 2 箇所 貯水池: 2 箇所
	並里地区	管水路: 11,407m ファームポンド: 1 箇所

③その他施設（モニュメント等）

その他施設（モニュメント）の内訳については以下の通りです。

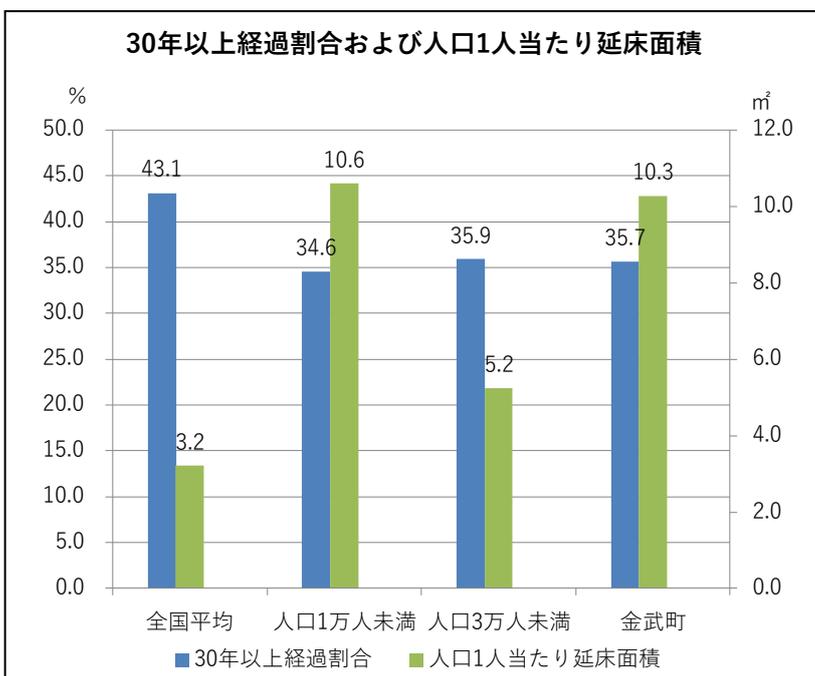
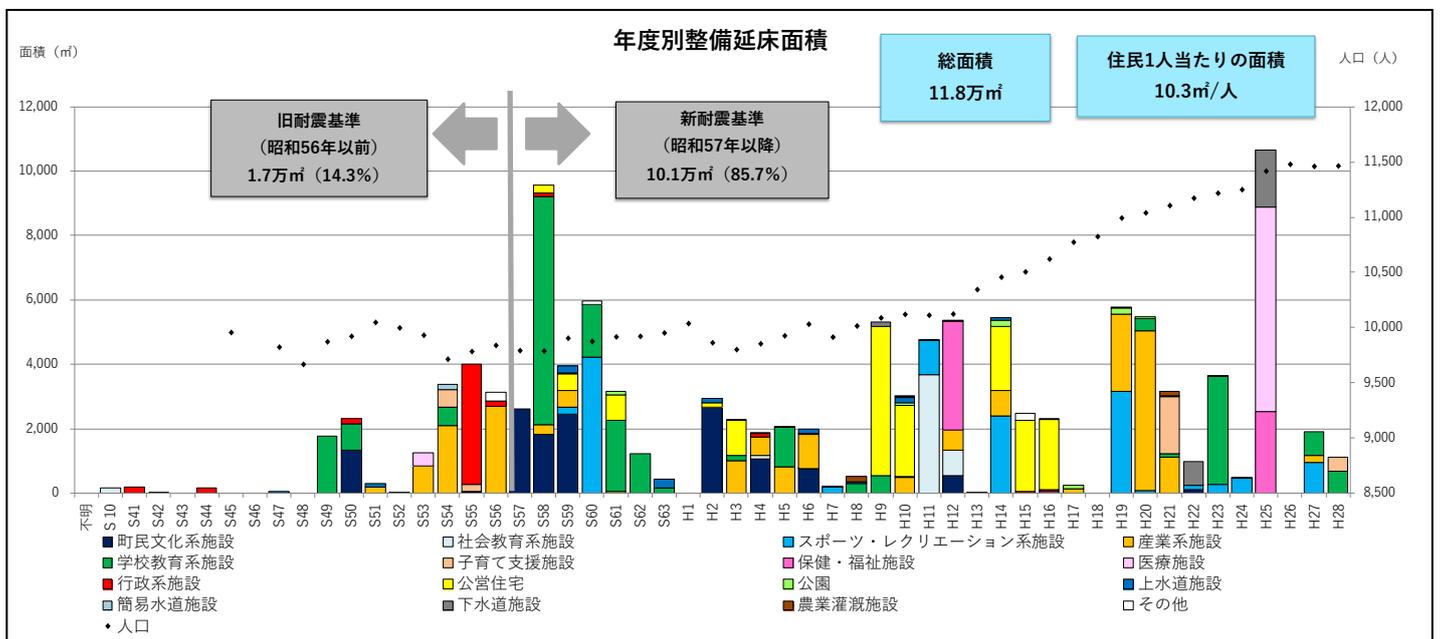
名称	備考
芳魂の塔	
時計台	教育委員会
金武町歓迎の塔	中川区
金武町歓迎の塔	屋嘉区
記念モニュメント	ギンバル地区

第2章

公共施設の現状と将来見通し

築年別整備状況

金武町の建物で最も古い建物は、昭和10年に建てられた當山記念館です。平成11年度には金武町教育文化センター、金武町立図書館、金武町立武道館、金武町総合保健福祉センターが、平成25年度にはギンバル訓練場跡地に金武町フィッティングセンター、金武町ヘルスケアセンター、金武町地域医療施設、金武町海洋療法児童リハビリセンターが整備されたため延床面積の値が大きくなっています。



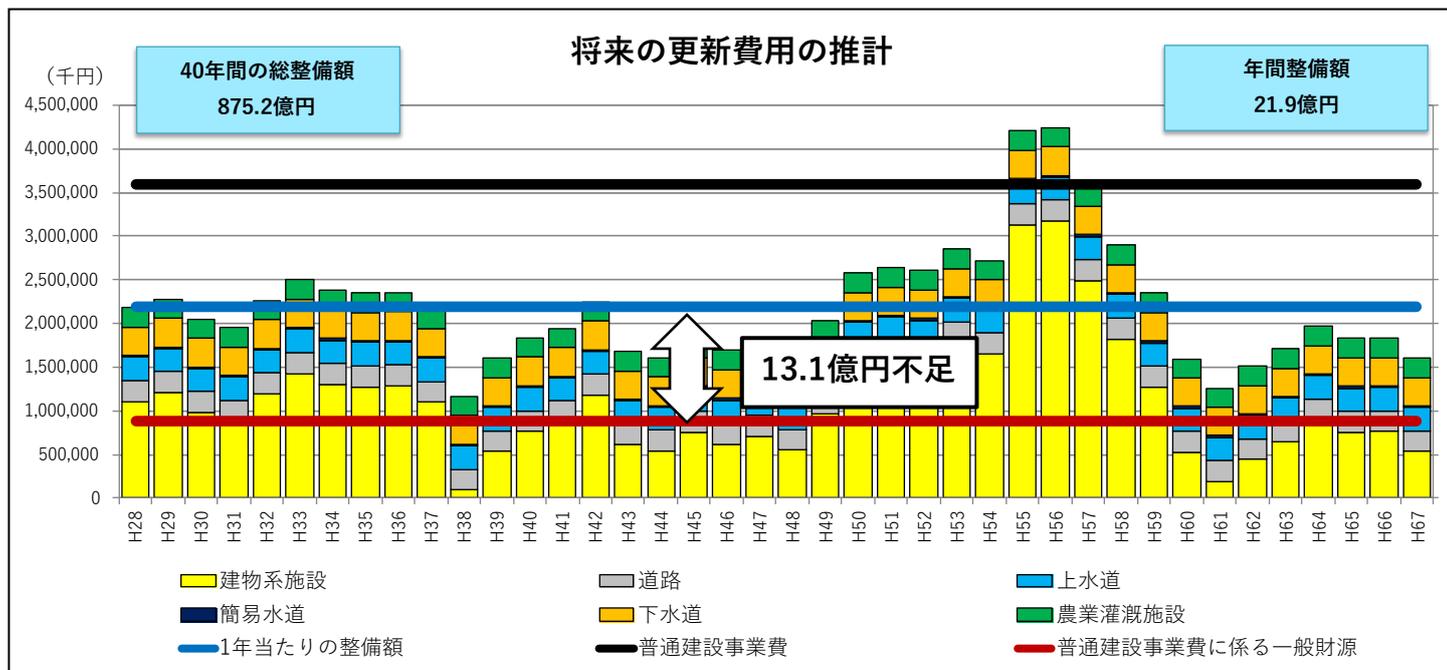
建設後30年を経過している建物の割合(延床面積)は全国平均で43.1%※となっています。金武町では建設後30年を経過している建物は全体の35.7%となっていますので、老朽化率は比較的低いと言えます。しかし、人口1人当たりの延床面積は、全国平均の約3倍となっています。

※公共施設及びインフラ資産の将来更新費用の比較分析に関する調査結果(平成24年3月 総務省自治財政局財務調査課)

将来の更新費用の見通し

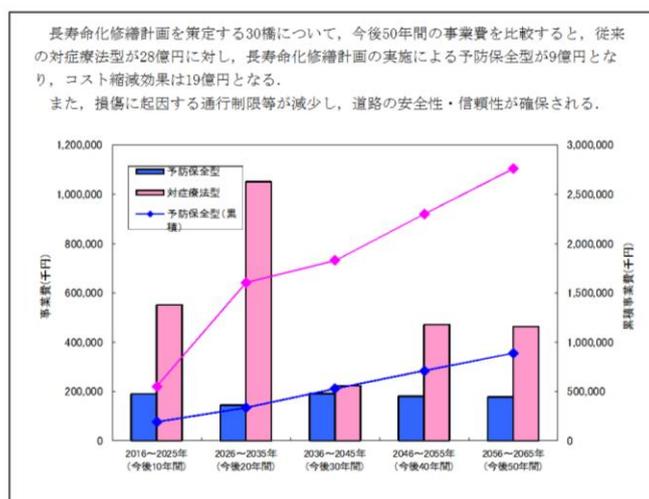
①公共施設等の更新費用試算結果

金武町が所有する公共施設等の将来更新費用を総務省が提供する公共施設等更新費用試算ソフトを使用して算定しました。すべての施設について大規模改修を実施し、現状規模のまま整備を行った場合、今後40年間で875.2億円の投資的経費を要し、40年間で平均すると、毎年21.9億円かかる試算となりました。大規模改修と建替えのピークは平成51～60年頃です。特に平成52年度には、金武町役場や金武町立診療所の建替え、金武町立図書館、金武町立武道館の大規模改修時期を迎えます。



過去10年の普通建設事業費の平均額は約36億円のため、財政面では問題がないと思われませんが、施設更新費用の財源は基本的に一般財源（8.8億円）となりますので、年間約13.1億円が不足する見込みとなります。

なお、橋梁については平成27年に長寿命化修繕計画を策定しているため、今回の試算には含まれていません。長寿命化修繕計画を実施することで、今後50年で必要な修繕費は9億円となり、19億円のコストを削減することが可能となります。



【資料】金武町橋梁長寿命化修繕計画

②更新費用予測にあたっての試算条件

(1) 建物系施設

更新費用の推計額		事業費ベースでの計算	一般財源負担見込み額を把握することが困難であるため
計算方法		延床面積×更新単価	耐用年数経過後に現在と同じ延床面積等で更新すると仮定
更新単価	建替え	公共施設等更新費用推計ソフト(Ver.2.10)の初期設定値を使用(次頁の単価表を参照)	建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については含むものとして想定
	大規模修繕	公共施設等更新費用推計ソフト(Ver.2.10)の初期設定値を使用(次頁の単価表を参照)	建替え単価の6割と想定
建替え時期		建築後60年	日本建築学会「建物の耐久計画に関する考え方」より建替え期間は3年
大規模改修時期		建築後30年	修繕期間は2年間
築年数が31年以上50年未満の建物		今後10年間で均等に更新するものとして計算	
築年数が51年以上の建物		大規模改修は行わずに60年を経た年度に建替えるものとして計算する	
地域格差		考慮しない	

更新単価（総務省 公共施設等更新費用推計ソフト(Ver2.1.0 より)）

施設用途	大規模改修	建替え
町民文化系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
社会教育系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
産業系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
学校教育系施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
子育て支援施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
保健・福祉施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
医療施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
行政系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
公営住宅	17 万円/㎡	28 万円/㎡
公園	17 万円/㎡	33 万円/㎡
上水道施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
簡易水道施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
下水道施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
農業灌漑施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
その他	20 万円/㎡	36 万円/㎡

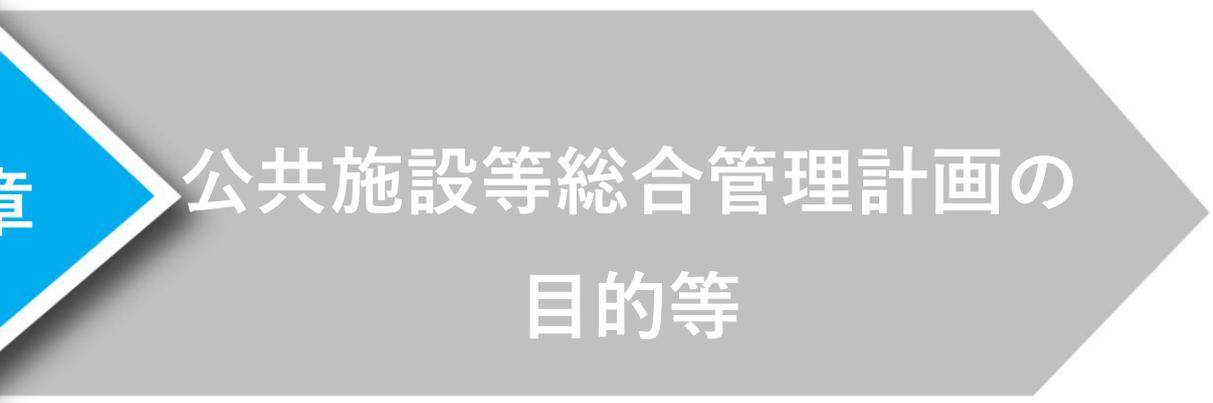
※簡易水道施設および農業灌漑施設は上水道施設、下水道施設と同じ単価を採用

(2) インフラ系施設

	道路（町道および農道）	上水道および簡易水道施設	下水道および農業灌漑施設	
計算方法	更新量×更新単価	管径別総延長×更新単価	更新量×更新単価	
更新量	整備面積÷更新年		総延長÷更新年	
更新年	15年	40年	40年	
更新単価	公共施設等更新費用推計ソフト (Ver.2.10)			
	幹線道路（1級）	4,700 円/㎡	導水管	100 千円/m
	補助幹線道路(2級)	4,700 円/㎡	送水管	100 千円/m
	地区内道路 (その他) ※農道を含む	2,700 円/㎡	配水管	150mm 以下
200mm 以下				100 千円/m
			124 千円/m	



第3章



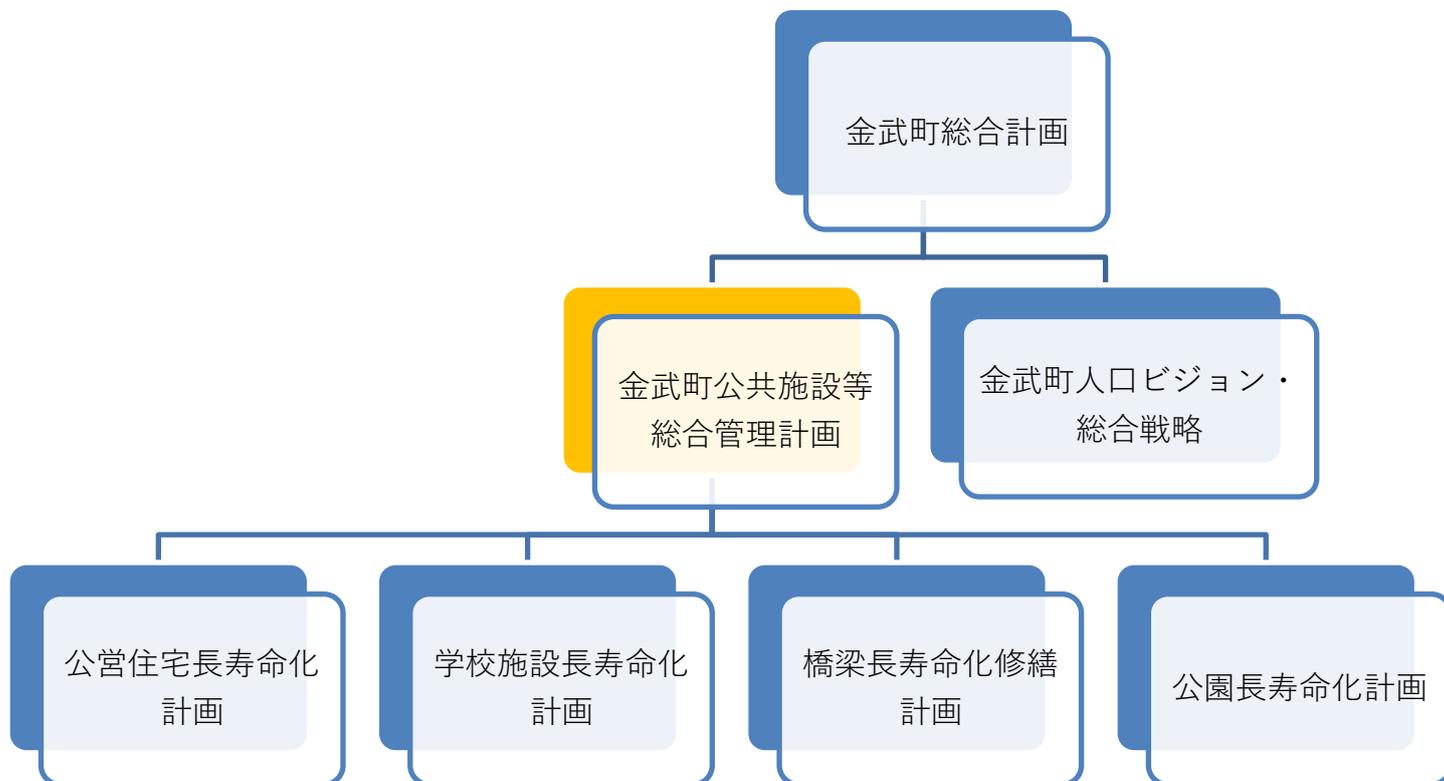
公共施設等総合管理計画の
目的等

目的

本計画は、本町における公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって計画的に更新・統廃合・長寿命化などを行うことで、財政負担の軽減・平準化につなげることを目的とし、公共施設等の総合的かつ計画的な管理推進の基本方針を取りまとめたものです。

計画の位置付け

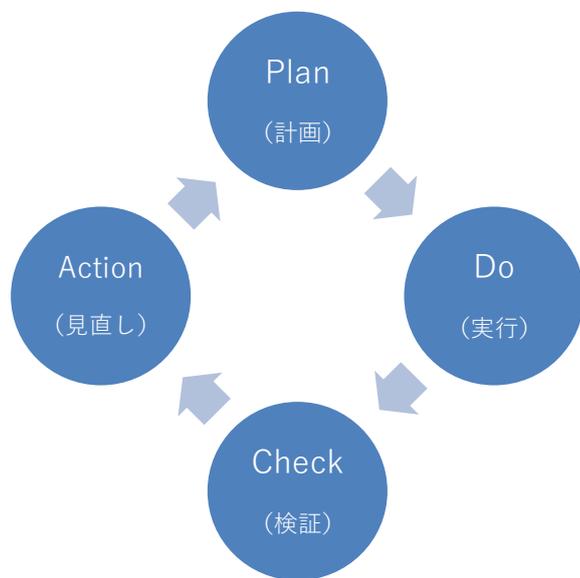
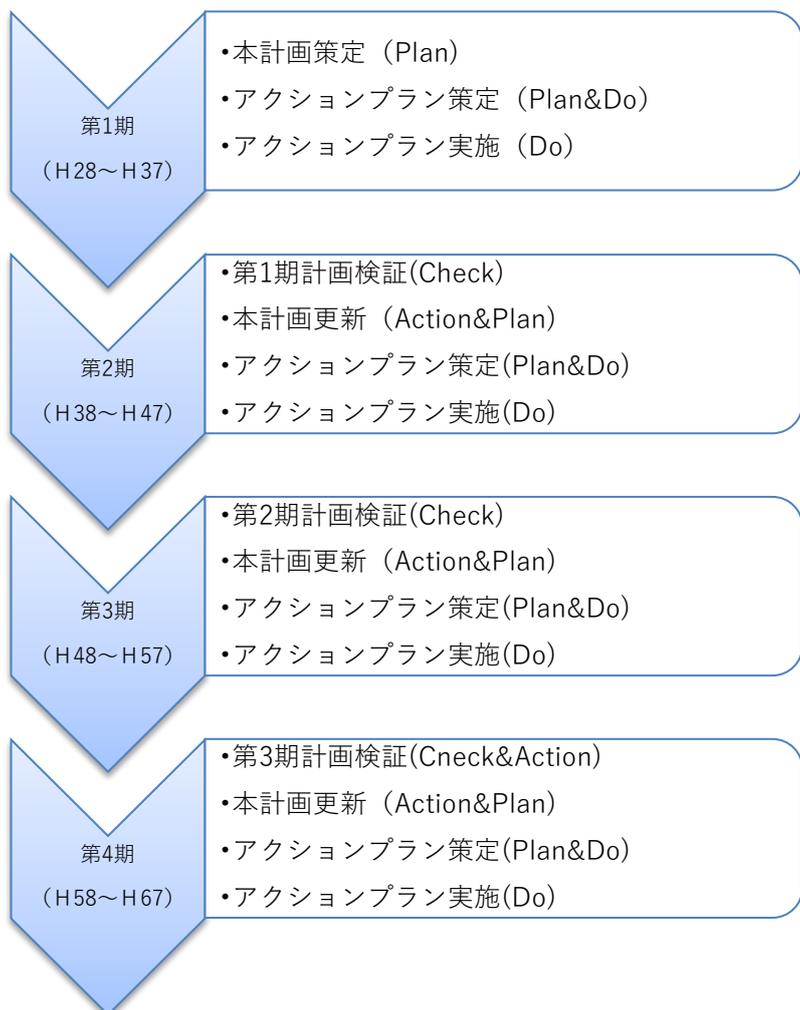
本計画は、本町の上位計画である「金武町総合計画」を下支えする計画であり、「金武町人口ビジョン・総合戦略」等と連動して、各政策分野の中で公共施設面の取組みに対して横断的な指針を提示するものです。また平成24年および27年に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」などの個別の公共施設計画については、本計画を上位計画と位置づけ、本計画の方針との整合性や計画自体の実現可能性を検証することとします。



計画期間

本計画は、中長期的な視点が不可欠であること、建物の大規模改修が建設後40年で必要とされることから、平成28年度（2016年度）から平成67年度（2055年度）までの40年間の将来推計に基づき策定しています。そのため計画期間についても、平成28年度から平成67年度までの40年間を計画期間とします。また、当初の平成28年度から平成37年度（2025年度）までの10年間を第1期として、以後10年間ごとに第2期～第4期に分け、具体的なアクションプランを策定します。第1期については、本計画において、全体目標と個別方針を示し、平成31年度（2019年度）までに分野別の具体的な検討を行い、「第1次アクションプラン」（計画期間：平成32年度（2020年度）から平成36年度）を策定します。

なお、計画のローリングについては、10年間の期ごとの見直しを行うことを基本とするとともに、歳入・歳出額の変動や扶助費等の増大、更新費用試算条件の変更などの場合に、適宜見直しを行うこととします。





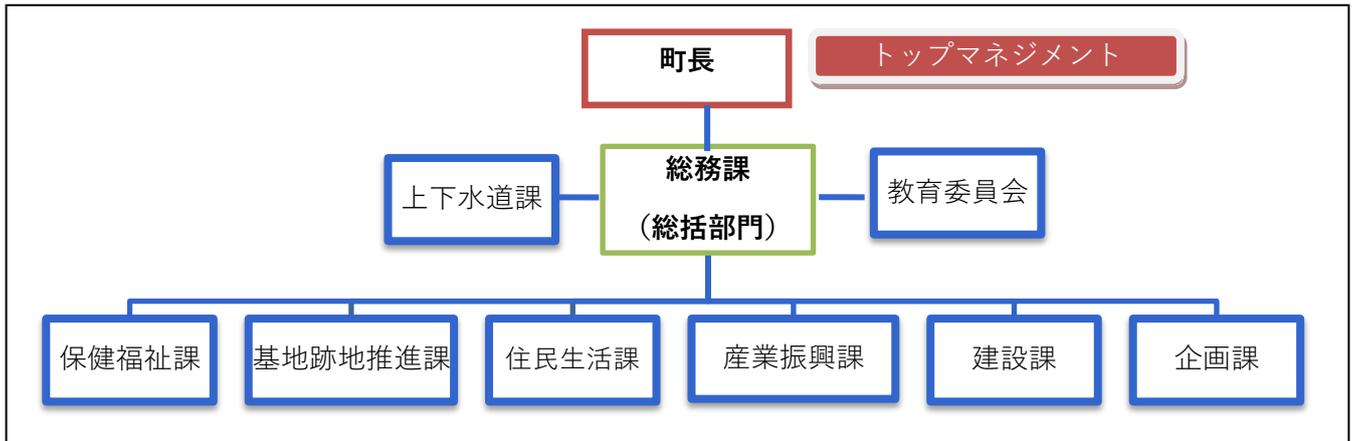
第4章



推進体制

全庁的な取り組み体制

トップマネジメントを町長とし、総務課を計画策定及び推進管理統括部門とします。各施設については各部局（各課）で管理を行います。



情報管理・共有方策

各部局の保有する施設情報について一元管理を行い、効率的な維持管理を推進する目的で、総務課で導入している庁内の施設管理・固定資産台帳システムを活用し、関係部局と連携をとりながら推進を図ります。





第5章



基本方針

基本方針

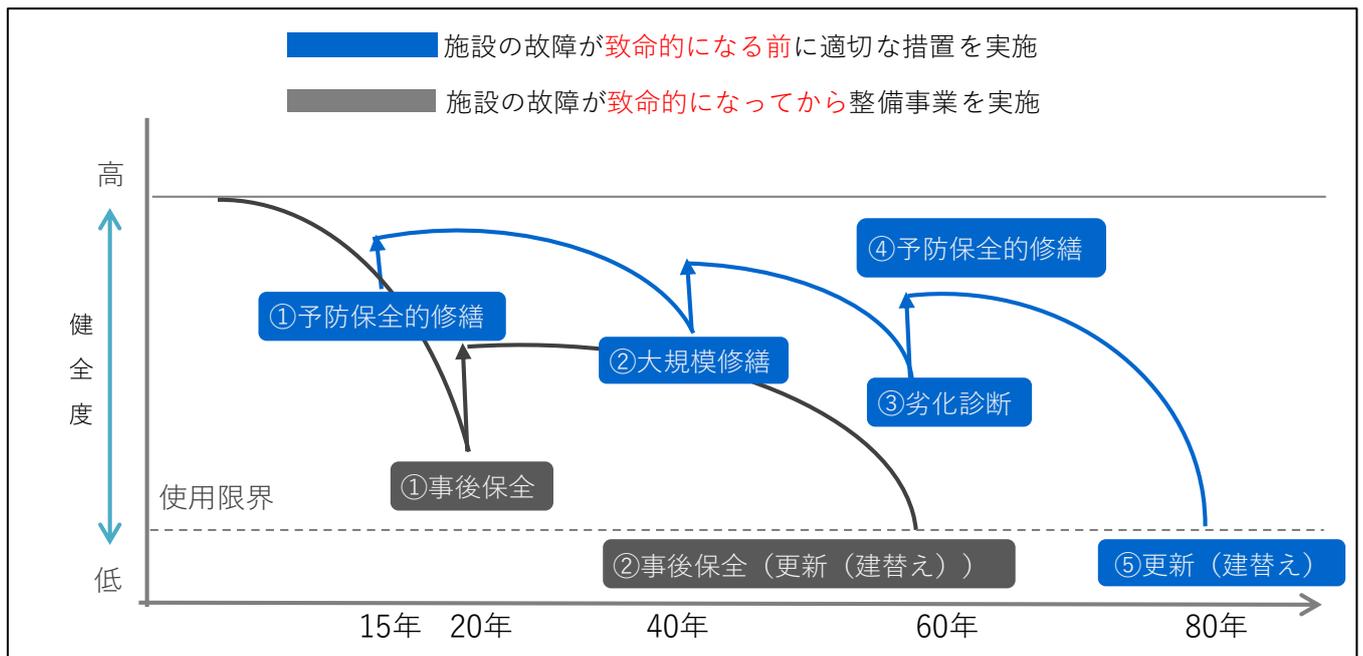
①既存施設の長寿命化

全国平均と比較すると金武町が所有する建物の老朽化比率は低いと言えますが、住民一人当たりの延床面積は大きいと言える（第2章 築年別整備状況 参照）ことや、既存施設の更新費用の捻出が課題となっています（第2章 将来の更新費用の見通し 参照）。そのため、原則として数十年後の建物の更新費用を考慮し、施設を増やすのではなく、既存建物の長寿命化を図り、施設の維持・更新に係る費用を削減します。

（1）長寿命化の実施方針

一般的な建物の耐用年数は60年であり（日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」より）、長寿命化工事を実施することで80年まで長期使用することも可能となります。金武町の公共施設では、建替え周期を大規模修繕工事を経ての60年とし、その時点で診断を行い、更に使用が可能であれば予防保全的修繕を行って80年まで長期使用しコストを削減することも検討します。

長寿命化のイメージ



予防的保全的修繕とは原状回復を行うために、耐用年数を経過する建物附属設備（電気設備、空調設備等）の更新、トイレ改修等のほか、躯体に影響を与える前に外壁塗装や屋上防水の延命化対策を実施することです。建物附属施設の更新を行う際は省エネルギー化のため、照明器具のLED化についても検討を行います。

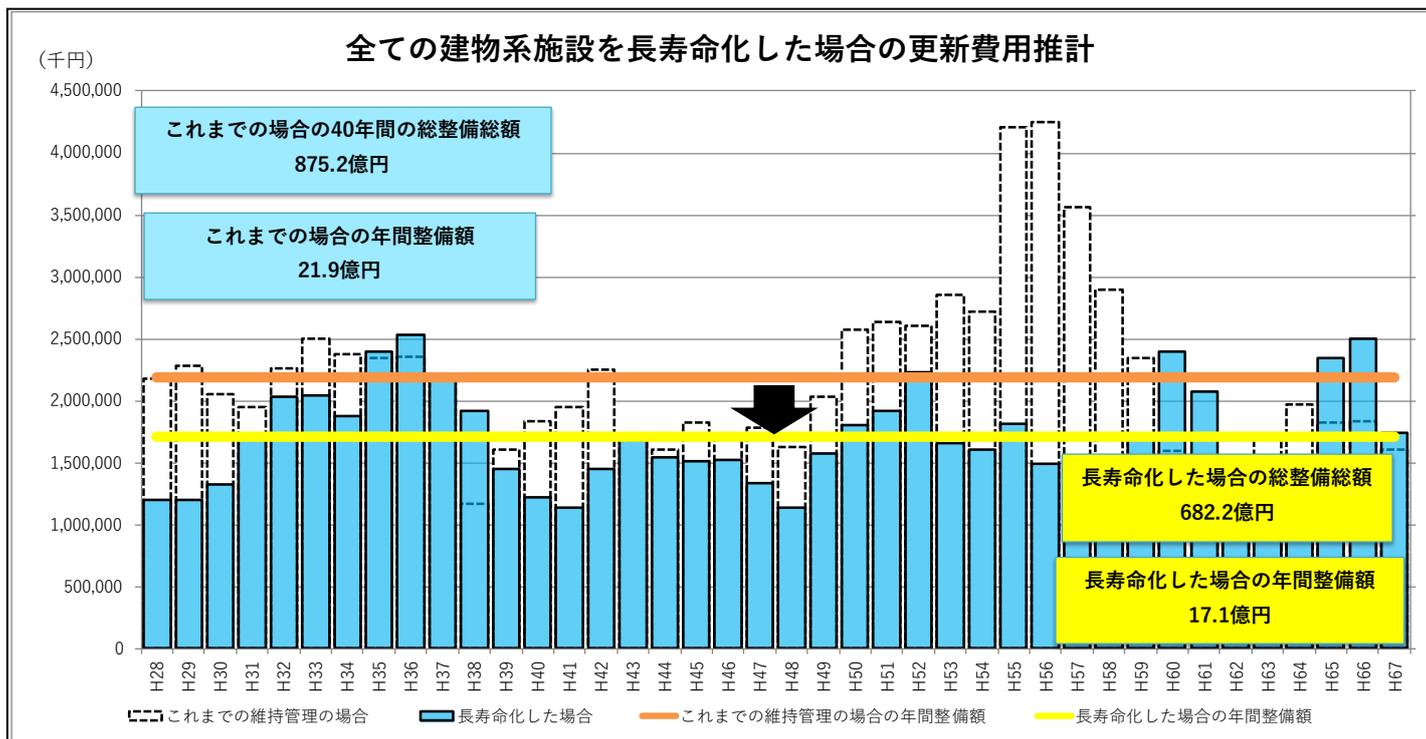
大規模改修は機能を向上させるために、耐用年数を迎える建物属設備の更新に加え、コンクリート中性化対策、鉄筋の腐食対策、耐久性に優れた仕上材への取り替えなど、建物の耐久性や機能・性能の向上を行います。

大規模改修等の実施にあたっては、緊急性・重要性等を踏まえて実施時期の調整を行うことにより、財政負担の平準化を図ります。

【参考】「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」 平成27年4月 文部科学省 施設助成課

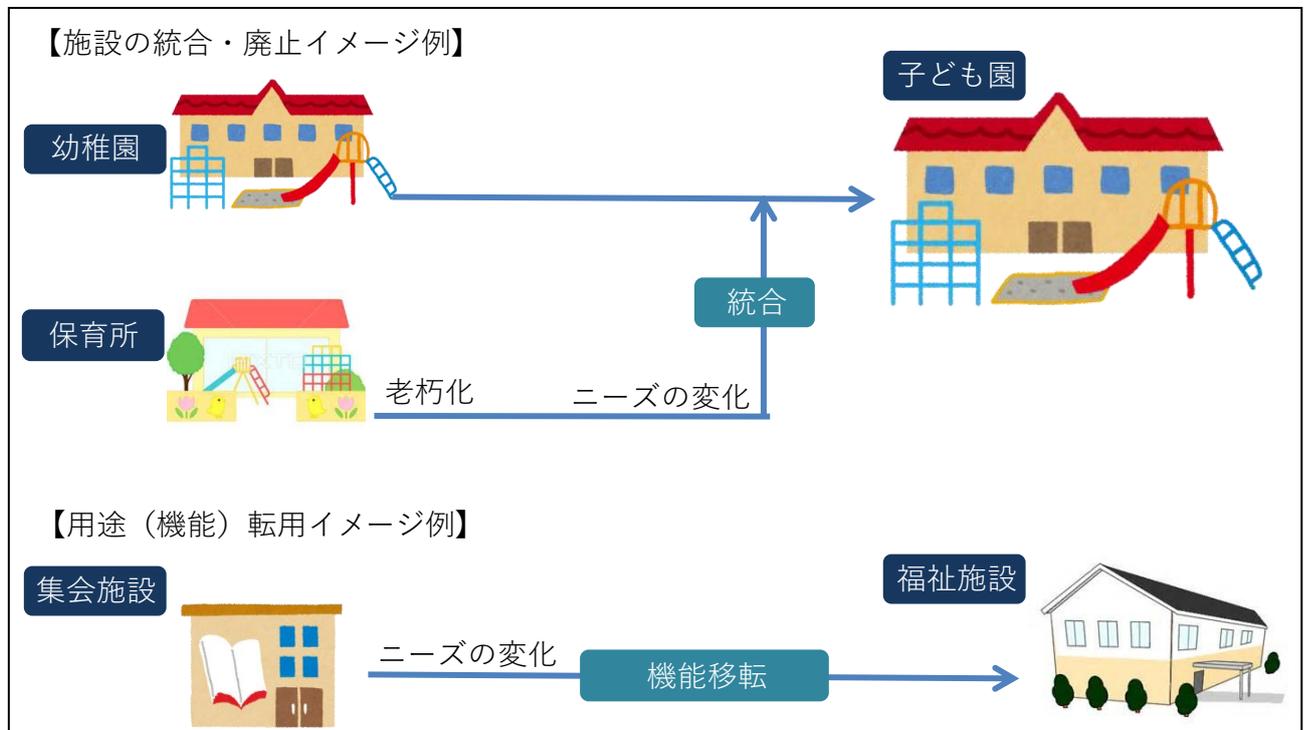
(2) 長寿命化した場合の将来推計

仮に、金武町が所有する全ての建物系施設の建替え周期を80年、大規模修繕を建築後40年に行った場合の将来の更新費用を推計すると今後40年間で総額682.2億円となり、193.0億円を削減することが可能となります。



②施設の建替え・新規整備について

現在、幼稚園と保育所で実施しているように、施設の老朽化に伴う建替えを実施する場合は、一棟の建物に複数の機能を盛り込む「複合化」によって、町民ニーズの変化に適切に対応することも検討します。さらに、住民からの要望、財政状況等も踏まえ、新設を行う場合は、特定の用途のみにしか使用できない建物ではなく、柔軟に「用途（機能）転用」が行える建物の新設を検討します。



③公平性に基づく受益者負担の適正化

公共施設の維持管理などに要する経費（コスト）は、自治体の税などの一般財源と施設利用者による受益の対価（使用料等）から賄われています。公共施設の使用料などは、公共施設を利用する人とならない人との公平性を考慮して施設利用者には公平で適正な負担を求めることが重要と考えられます。そのため、各施設の維持管理経費や利用者人数等の調査を毎年実施し、利用実態に合わせて必要に応じ、使用料などを見直します。

第5章

基本方針

指定管理者制度利用施設

施設分類	施設名	担当課	備考
町民文化系施設	金武町立金武地区公民館	社会教育課	
	並里地区学習等供用施設		金武町立並里地区公民館内
	金武町立並里地区公民館		
	金武町立中川地区公民館		
	金武町立伊芸地区公民館		
	伊芸地区学習等供用施設		金武町立伊芸地区公民館内
	金武町立屋嘉地区公民館		
	金武町立屋嘉地区体育館 (学習等供用施設)		金武町立屋嘉地区公民館に併設
	金武区学習等供用施設(金武公会堂)		
	金武町伊芸地区集会所	総務課	
社会教育系施設	金武町並里地区青年・婦人会館	社会教育課	
スポーツ・レクリエーション系施設	金武町立並里区民広場	社会教育課	
	金武町立屋嘉地区運動場		
	金武町立伊芸地区運動場	建設課	
	ネイチャーみらい館	産業振興課	
	億首川プロムナード	建設課	
産業系施設	金武町特産品物産センター	産業振興課	
	喜瀬武原地区農民集会所		
	金武町屋嘉地区共同作業施設		
	金武町商工業研修等施設		
	金武町研修施設		
	漁村総合センター		
	水産物荷捌き施設		
	漁船保全修理施設及び捲揚施設		
	船溜場		
保健・福祉施設	金武町フィッティングセンター	基地跡地推進課	
	海洋療法児童リハビリセンター		

指定管理者制度利用施設

施設分類	施設名	担当課	備考
医療施設	金武町立診療所	保健福祉課	
公園	金武児童公園	建設課	
	中川児童公園		
	大川児童公園		
	屋嘉西児童公園		
	伊芸地区公園		
	モーシヌ森公園		
	中川近隣公園		
	上ヌ毛公園		
	ふれあいの森公園		
	大川長命の泉公園		
	大川西公園		
	ティダガー森林公園		
	トムズズ緑地公園		
	伊芸海浜公園		
がじまる公園			
仲畑慶原公園			
簡易水道施設	伊芸地区簡易水道施設	住民生活課	
下水道施設	伊芸地区農業集落排水処理施設	上下水道課	
その他	金武公会堂前広場	建設課	
	金武町公共駐車場	産業振興課	

公共施設等の維持管理方針

①点検・診断等の実施方針

建物の劣化および機能低下を早期発見するための、点検項目・点検頻度等について検討し、マニュアル等の整備を行います。委託契約により保守・点検・整備を実施している施設は、委託契約どおりに実施されているかどうか委託先から確実に報告を受け実態を把握します。点検・診断結果については、その結果を記録・蓄積して老朽化対策等に活用します。

(参考資料) 公共施設診断の対象となる評価項目例

評価項目	評価内容
安全性	・敷地安全性(耐災害)、建物耐震・耐風・耐雪・耐雨・耐落雷安全性、防火安全性、事故防止性、防犯性、空気質・水質安全性
耐久性	・建物部位(構造・外装など)の耐久性・劣化状況
不具合性	・施設各部位(構造・仕上・付帯設備・建築設備)の不具合性
快適性	・施設快適性(室内環境・設備)、立地利便性
環境負荷性	・施設の環境負荷性(省エネ、有害物質除去など)
社会性	・地域のまちづくりとの調和、ユニバーサルデザイン(バリアフリー化)
耐用性	・経過年数と耐用年数、変化に対する追従性、計画的な保全・大規模改修
保全性	・維持容易性、運営容易性、定期検査の履行
適法性	・建築法規、消防法、条例
情報管理の妥当性	・情報収集、情報管理、情報利活用
体制・組織の妥当性	・統括管理体制、管理体制、トップマネジメントへの直属性
顧客満足度	・顧客満足度、職員満足度
施設充足率	・地域別施設数量の適正性、用途別施設数量適正性、余剰スペース
供給水準の適正性	・供給数量適正性(敷地面積、建物面積など)
施設利用度	・施設利用率、空室率
点検・保守・改修コストの適正性	・点検・保守費、清掃費、警備費、改修費・大規模改修費、更新費
運用コストの適正性・平準化	・運用費、水道光熱費
ライフサイクルコストの適正性	・ライフサイクルコスト

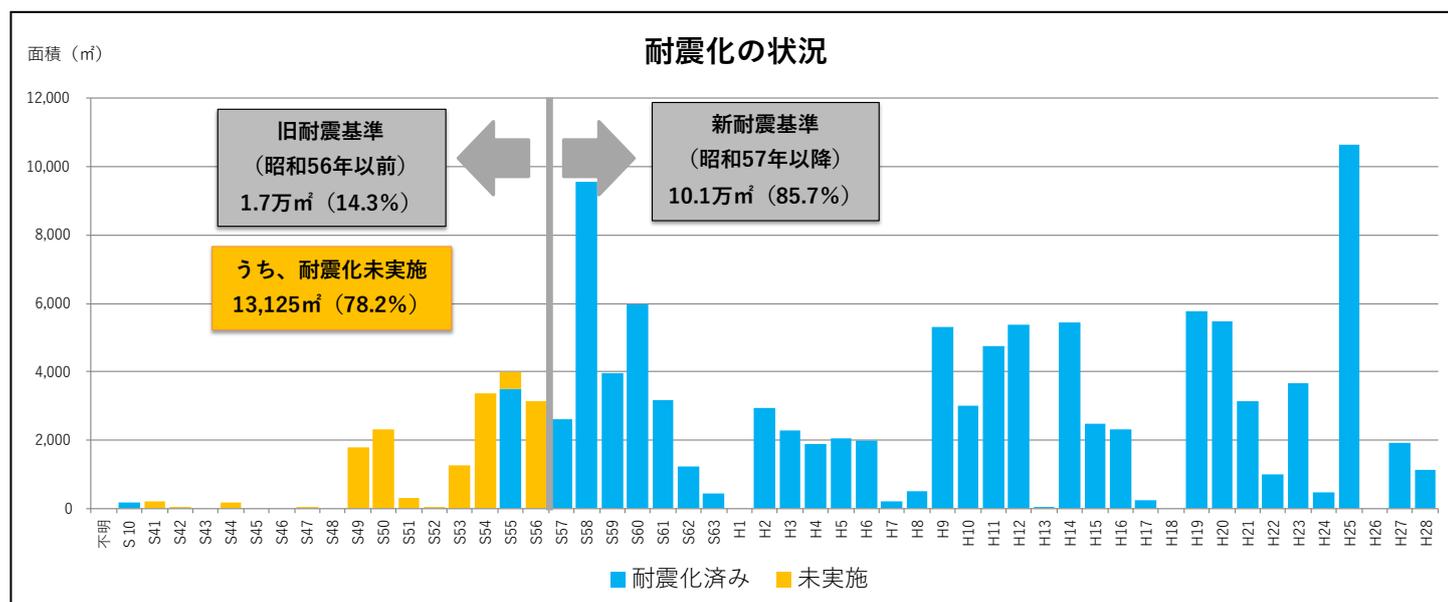
(出展: FM 評価手法・JFMES13 マニュアル(試行版))

②安全確保の実施方針

施設の安全性について、高い危険性が認められた公共施設は利用禁止等の処置を行い、利用者の安全確保を図ります。用途廃止され、利用される見込みのない施設については、速やかに除却・売却等の検討を行います。

④耐震化の実施方針

昭和56年度（1981年度）以前に建設された建物は旧耐震基準となっています。旧耐震基準で建設された建物のうち、耐震化が行われていない施設は77.6%あります。これらの施設については、耐震化診断を行い、診断結果に基づいて耐震改修工事を計画的に実施します。

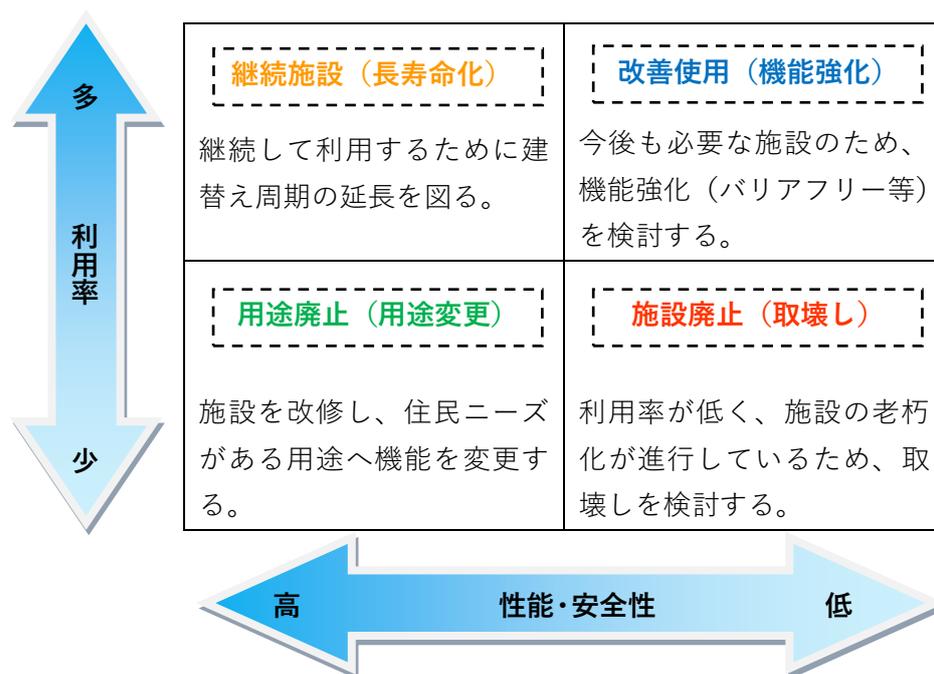


主な耐震化未実施施設

施設名	築年度
金武中学校 体育館	S49
金武区学習等供用施設（金武公会堂）	S50
嘉芸小学校 体育館	S50
並里浄水場	S51
金武町立診療所	S53
金武養豚団地	S53～S56
伊芸地区簡易水道施設	S 54
金武中学校 特別教室棟	S54
嘉芸保育所	S54
嘉芸幼稚園	S55
金武火葬場	S56

⑥統合や廃止の実施方針

施設の利用率、性能・安全性等によって施設を診断し、継続使用、改善使用、用途廃止、施設廃止等の4つの段階に評価します。診断結果は、施設の統廃合及び供用廃止の判断材料とします。





第6章



施設類型毎の基本方針

施設類型毎における現在の状況や今後の方針、平成28年度時点で今後予定されている事業について、取りまとめています。

建物系施設

①町民文化系施設

《現在の状況》

- ・各施設の点検、診断は業務委託により保守点検を行っている。
- ・中央公民館は老朽化に伴う空調設備の修繕、雨漏り箇所の修繕が必要となっている。
- ・各地区の公民館施設や金武区学習等供用施設は各地区へ指定管理を委託しており、軽微な修繕については各地区が実施している。
- ・中川地区公民館や伊芸地区公民館、屋嘉地区公民館は老朽化に伴う費用捻出が課題となっている。
- ・金武区学習等供用施設は、平成26年度に実施した耐震診断結果により、耐震対策が求められている。

《今後の方針》

- ・今後も施設の点検については、業務委託により実施する。点検結果や耐用年数等から、事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。
- ・金武区学習等供用施設については、耐震化の実施方法について金武区と協議する。

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町立中央公民館	公民館	鉄筋 コンクリート	2,441 m ²	S59	32
金武町立 金武地区公民館	図書館・ 視聴覚室等	鉄筋 コンクリート	759 m ²	H6	22
金武町立 並里地区公民館	学習施設	鉄筋 コンクリート	678 m ²	S57	34
	公民館	鉄筋 コンクリート	1,934 m ²	S57	34
金武町立 中川地区公民館	町民会館 公会堂	鉄筋 コンクリート	1,057 m ²	H4	24
金武町立 伊芸地区公民館	多目的室・ 倉庫・トイレ	コンクリート ブロック	113 m ²	H22	6
	学習等 供用施設	鉄筋 コンクリート	357 m ²	S58	33
	公民館	鉄筋 コンクリート	1,456 m ²	S58	33
金武町立 屋嘉地区公民館	公民館	鉄筋 コンクリート	1,298 m ²	H2	26
	学習等 供用施設	鉄筋 コンクリート	1,366 m ²	H2	26
金武町 伊芸地区集会所	集会所	鉄筋 コンクリート	554 m ²	H12	16
金武区 学習等供用施設 (金武公会堂)	学習等 供用施設	鉄筋 コンクリート	1,292 m ²	S50	42
	発電室	鉄筋 コンクリート	45 m ²	S50	42

②社会教育系施設

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設の点検、診断は業務委託により保守点検を行っており、軽微な点検や修繕は職員の日頃の業務にて実施を行っている。 金武町立図書館が築後 16 年を経過しており、空調設備の修繕が必要となっている。また、幅広い層が利用することから、どのような方でも利用しやすい環境を提供できるように施設の機能強化が求められている。 金武町並里地区青年婦人会館は指定管理により、並里区が管理を行っている。 金武町教育文化センターについては、平成 11 年に県より移管している。築後 34 年が経過しているため、老朽化の問題がある。 當山記念館は老朽化のため使用されていなかったが、平成 28 年度に改修工事を実施し、再度利用している。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も施設の点検については、業務委託により実施する。点検結果や耐用年数等から、事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。 金武町立図書館は、利用者からの要望のため屋根付き身障者駐車場の設置を検討する必要がある。 金武町教育文化センターは老朽対策のため、建替えを含予定している。 文化財資料保管のため、資料館設置を行う必要がある。 當山記念館については、文化財建造物として活用予定である。
--	---

新規整備予定施設	事業内容等
(仮) 金武町立文化資料館	建替え予定 (平成 31 年度以降)

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町立図書館	図書館	鉄筋 コンクリート	1,492 m ²	H11	17
金武町 教育文化センター	金武町教育 文化センター	鉄筋 コンクリート	936 m ²	S57	34
	金武町教育 文化センター	鉄筋 コンクリート	1,221 m ²	S57	34
	機械室	鉄筋 コンクリート	43 m ²	S57	34
金武町並里地区 青年・婦人会館	青年・婦人会館	鉄筋 コンクリート	781 m ²	H12	16
文化資料収蔵庫	収蔵庫	軽量鉄骨造	105 m ²	H4	24
當山記念館	資料展示室	鉄筋 コンクリート	162 m ²	S10	81

③スポーツ・レクリエーション系施設

《現在の状況》

- ・ 各施設の点検、診断は業務委託により保守点検を行っている。軽微な点検や修繕は職員の日頃の業務にて実施を行っている。
- ・ 昭和 56 年以前に建設された施設は無いため耐震の問題は無いが、金武町営プールの機械設備に係るメンテナンス費用や金武町ベースボールスタジアム、金武町フットボールセンターの施設機能高度化に係る費用の確保が課題である。
- ・ ネイチャーみらい館は指定管理を実施し、軽微な修繕については指定管理者が実施している。

《今後の方針》

- ・ 今後も施設の点検については、業務委託により実施することで、事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。また、日常的な点検については、マニュアルを作成し、職員が実施する。
- ・ 町としてスポーツコンベンションの誘致促進に取り組み、町の活性化を図っている。そのため、スポーツ施設の廃止予定は無く、下表内容の施設機能高度化や施設の整備を行う予定である。
- ・ 受益者負担の観点、施設の維持管理費用の確保のため、施設利用料の見直しを行う必要がある。
- ・ 観光客誘致のため、ギンバル跡地に民設民営による温泉施設を建設予定であり、平成 31 年度を目途に供用開始予定である。

機能高度化または新規整備予定施設	事業内容等
金武町陸上競技場	観覧席整備 (三種公認更新に係る機能高度化事業 平成 29 年度)
金武町ベースボールスタジアム	電光掲示板の整備
金武町フットボールセンター	観覧席の整備
多目的屋内運動場の新設	平成 31 年度～平成 32 年度

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
ネイチャーみらい館	体験交流棟	鉄筋 コンクリート	231 m ²	H19	9
	艇庫棟	鉄筋 コンクリート	167 m ²	H19	9
	ピロティ	鉄筋 コンクリート	560 m ²	H19	9
	シャワー ロッカー棟	鉄筋 コンクリート	195 m ²	H19	9
	管理棟	鉄筋 コンクリート	431 m ²	H19	9
	体験実習棟	鉄筋 コンクリート	486 m ²	H19	9
	セミナー棟 (デイゴ)	鉄筋 コンクリート	201 m ²	H19	9
	セミナー棟 (ハイビスカス)	鉄筋 コンクリート	201 m ²	H19	9
	セミナー棟 (アダン)	鉄筋 コンクリート	218 m ²	H19	9
	セミナー棟 (ブーゲンビレア)	鉄筋 コンクリート	201 m ²	H19	9
	セミナー棟 (ゲットウ)	鉄筋 コンクリート	201 m ²	H19	9
	電気・ブローア室	鉄筋 コンクリート	48.7 m ²	H19	9
	屋外トイレ	鉄筋 コンクリート	15.8 m ²	H19	9
	キャンプ場 屋外炊事場 A	木造	18 m ²	H20	8
	キャンプ場 屋外炊事場 B	木造	18 m ²	H20	8
	キャンプ場 屋外炊事場 C	木造	18 m ²	H20	8
	キャンプ場 屋外炊事場 D	木造	18 m ²	H20	8
大浴場	鉄筋 コンクリート	127 m ²	H22	6	

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町 ベースボールスタジアム	投球練習場	鉄骨造	462 m ²	H24	4
金武町立武道館	武道館	鉄骨鉄筋 コンクリート	1,059 m ²	H11	17
金武町営プール	町営プール	鉄筋 コンクリート	2,384 m ²	H14	14
金武町立体育館	体育館	鉄筋 コンクリート	4,230 m ²	S60	31
	倉庫	軽量鉄骨造	200 m ²	H7	21
金武町陸上競技場	管理事務所	鉄筋 コンクリート	200 m ²	S59	32
	トイレ	鉄筋 コンクリート	25 m ²	S59	32
	トイレ	コンクリート ブロック	13 m ²	H6	22
	備品用 器具倉庫	鉄筋 コンクリート	275 m ²	H23	5
中川体育施設備品倉庫	備品倉庫	鉄筋 コンクリート	28 m ²	S55	36
金武町 フットボールセンター	クラブハウス	鉄筋 コンクリート	692 m ²	H27	1
	南トイレ	鉄筋 コンクリート	41 m ²	H27	1
	施設管理倉庫	鉄筋 コンクリート	132 m ²	H27	1
	北トイレ	鉄筋 コンクリート	97 m ²	H27	1

④産業系施設

《現在の状況》

- ・ 下記施設は指定管理者制度を実施している施設または、第三セクターとなっている施設である。これら施設の維持管理は各事業者が実施している。

〈指定管理制度実施施設〉

- ・ 金武町特産品物産センター
- ・ 喜瀬武原地区農民集会所
- ・ 金武町屋嘉地区共同作業施設
- ・ 金武町商工業研修等施設
- ・ 金武町研修施設
- ・ 漁村総合センター
- ・ 荷捌場施設

〈第三セクター〉

- ・ 金武町特産品加工施設
- ・ 金武町堆肥センター
- ・ 金武町特産林産物（ぶなしめじ）生産出荷施設
- ・ 金武町研修施設は金武町商工会へ指定管理を委託している。築後16年が経過し、雨漏り等の対策を行う必要がある。
- ・ 畜産関係施設は老朽化が進行しているため、利用者から改修が求められている施設もある。
- ・ 水産関係施設については、平成27年度に躯体調査を実施し、躯体の安全性の確認を行っている。

《今後の方針》

- ・ 老朽化が進行している畜産施設については、利用者の方との協議の上、施設の統廃合を含めた更新方法について検討する必要がある。
- ・ 築年数が浅い施設についても、今後の老朽化に向けて、耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。
- ・ 観光業の振興を図るために、平成33年度に道の駅の整備を予定している。

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町 特産品加工施設	金武町特産品 加工施設	鉄骨造	797 m ²	H21	7
金武町 特産品物産センター	特産品 物産センター	木造	341 m ²	H12	16
喜瀬武原地区 農民集会所	集会所	鉄筋 コンクリート	142 m ²	H17	11
金武町 屋嘉地区共同作業施設	屋嘉地区 共同作業施設	鉄筋 コンクリート	496 m ²	H10	18
金武町 商工業研修等施設	金武町商工業 研修等施設	鉄筋 コンクリート	817 m ²	H14	14
金武町研修施設	研修施設 1	木造	49 m ²	H12	16
	研修施設 2	木造	49 m ²	H12	16
	研修施設 3	木造	49 m ²	H12	16
	研修施設 4	木造	49 m ²	H12	16
	研修施設 5	木造	49 m ²	H12	16
	研修施設 6	木造	49 m ²	H12	16

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武養豚団地	堆肥舎	コンクリート ブロック	98 m ²	S 51	40
	堆肥舎	コンクリート ブロック	98 m ²	S 51	40
	豚舎 (繁殖豚舎)	鉄骨 コンクリート	330 m ²	S 56	35
	豚舎 (繁殖豚舎)	鉄骨 コンクリート	330 m ²	S 56	35
	豚舎 (繁殖豚舎)	鉄骨 コンクリート	455 m ²	S 54	37
	豚舎 (繁殖豚舎)	鉄骨 コンクリート	330 m ²	S 56	35
	豚舎 (繁殖豚舎)	鉄骨 コンクリート	330 m ²	S 56	35
	豚舎 (繁殖豚舎)	鉄骨 コンクリート	455 m ²	S 54	37
	豚舎 (繁殖豚舎)	鉄骨 コンクリート	370 m ²	S 53	38
	豚舎 (肥育豚舎)	鉄骨 コンクリート	455 m ²	S 56	35
	豚舎 (肥育豚舎)	鉄骨 コンクリート	455 m ²	S 56	35
	豚舎 (肥育豚舎)	鉄骨 コンクリート	590 m ²	S 54	37
	豚舎	鉄骨 コンクリート	455 m ²	S 56	35
	豚舎 (肥育豚舎)	鉄骨 コンクリート	590 m ²	S 54	37
	豚舎 (肥育豚舎)	鉄骨 コンクリート	500 m ²	S 53	38
	ポンプ室	鉄筋 コンクリート	13 m ²	H 3	25

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町堆肥センター	発酵棟	鉄骨造	3,080 m ²	H20	8
	堆肥置場	鉄骨造	697 m ²	H20	8
	脱臭槽	鉄骨造	385 m ²	H20	8
	車両保管庫	鉄骨造	306 m ²	H20	8
	管理棟	鉄筋 コンクリート	74 m ²	H20	8
	製品保管庫	鉄骨造	744 m ²	H20	8
バキュームカー車庫	車庫	鉄筋 コンクリート	164 m ²	H6	22
	事務所	軽量鉄骨造	27 m ²	H6	22
前原地区 家畜ふん尿処理施設	農業用施設	鉄筋 コンクリート	200 m ²	H4	24
金武地区 家畜ふん尿処理施設	農業用施設	鉄筋 コンクリート	587 m ²	H4	24
伊芸地区 家畜ふん尿処理施設	農業用施設	鉄筋 コンクリート	200 m ²	H4	24
並里地区 家畜ふん尿処理施設	農業用施設	鉄筋 コンクリート	780 m ²	H6	22
屋嘉地区 家畜ふん尿処理施設	農業用施設	鉄筋 コンクリート	587 m ²	H5	23
屋嘉地区家 畜ふん尿処理施設 2	農業用施設	鉄筋 コンクリート	587 m ²	H7	21

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
漁村総合センター	モズク種苗供給施設	鉄筋 コンクリート	262 m ²	H6	22
漁船保全修理施設	漁船保全修理施設	鉄筋 コンクリート	527 m ²	S59	32
荷捌場施設	荷捌場施設	鉄筋 コンクリート	305 m ²	S58	33
作業用建物及び管理棟 (町営苗畑)	共同作業所	鉄筋 コンクリート	60 m ²	S61	30
堆肥舎	堆肥舎	鉄筋 コンクリート	45 m ²	H5	23
金武町特用林産物 (ぶなしめじ) 生産出荷施設	きのこ センター金武	鉄骨 コンクリート	2,391 m ²	H19	9
	ぶなしめじ 冷蔵倉庫	鉄筋 コンクリート	199 m ²	H27	1

⑤学校教育系施設

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の日常点検は、教職員が実施している。 金武中学校の特別教室棟および体育館、嘉芸小学校の体育館は老朽化が進行し、外壁等の劣化が目立つようになっている。 町内の児童数の増加により、将来的に教室の不足が懸念される 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の児童数の増加のため、小学校や中学校の統廃合の予定は無い。今後は、児童数の増加対応のため、教室の増築を含めた対応を検討する。 老朽化が進行している金武中学校の特別教室棟、体育館、嘉芸小学校の体育館は建替えを含めた更新を5年以内を実施する。
--	---

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武小学校	普通教室棟	鉄筋 コンクリート	4,555 m ²	S58	33
	管理・特別 教室棟	鉄筋 コンクリート	1,816 m ²	H23	5
	水泳プール 管理棟	鉄筋 コンクリート	123 m ²	H21	7
	屋外トイレ	鉄筋 コンクリート	17 m ²	S42	49
	体育館	鉄筋 コンクリート	1,213 m ²	S62	29

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
中川小学校	校舎	鉄筋 コンクリート	674 m ²	H28	0
	校舎	鉄筋 コンクリート	1,209 m ²	H5	23
	体育館	鉄筋 コンクリート	749 m ²	H27	1
	用具庫	鉄筋 コンクリート	28 m ²	S55	36
	用具庫(増築)	鉄筋 コンクリート	10 m ²	H6	22
	屋外トイレ	鉄筋 コンクリート	18 m ²	H6	22
	プール付属室	鉄筋 コンクリート	131 m ²	H3	23
	プール付属室	鉄筋 コンクリート	40 m ²	H3	25
嘉芸小学校	管理・特別 教室棟	鉄筋 コンクリート	1,544 m ²	H23	5
	体育館	鉄筋 コンクリート	819 m ²	S50	41
	普通教室棟	鉄筋 コンクリート	1,638 m ²	S60	31
	給食室	鉄筋 コンクリート	300 m ²	H8	20
	プール 付属室①	鉄筋 コンクリート	131 m ²	S63	21
	プール 付属室②	鉄筋 コンクリート	40 m ²	S63	28

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武中学校	管理事務所	鉄筋 コンクリート	343 m ²	S58	33
	体育館	鉄筋 コンクリート	1,783 m ²	S49	42
	普通教室棟	鉄筋 コンクリート	2,213 m ²	S58	33
	校舎 (特別教室)	鉄筋 コンクリート	1,417 m ²	S61	30
	部室棟	鉄筋 コンクリート	350 m ²	H20	8
	特別教室棟	鉄筋 コンクリート	579 m ²	S55	37
	特別教室棟	鉄筋 コンクリート	797 m ²	S61	30
	屋外トイレ	鉄筋 コンクリート	18 m ²	H20	8
町給食センター	給食センター	鉄筋 コンクリート	550 m ²	H9	19

⑥子育て支援系施設

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園と保育所は統合を行い、幼保一体型の認定子ども園の設立を進めている。 ・ 嘉芸幼稚園、嘉芸保育所の老朽化が進んでいる。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嘉芸幼稚園は嘉芸保育所との統合を実施予定であるが、老朽化が進行しているため、統合の際は施設の建替えを行う予定である。 ・ 金武幼稚園、金武保育所は既存施設を活用し、認定子ども園を設置する。
---	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武幼稚園 金武保育所	幼稚園舎	鉄筋 コンクリート	915 m ²	H21	7
	保育所	鉄筋 コンクリート	811 m ²	H21	7
	倉庫	鉄筋 コンクリート	32 m ²	H21	7
中川幼稚園	校舎・幼稚園舎	鉄筋 コンクリート	135 m ²	H28	0
嘉芸幼稚園	校舎・幼稚園舎	鉄筋 コンクリート	206 m ²	S55	36
	校舎・幼稚園舎	鉄筋 コンクリート	12 m ²	H10	18
嘉芸保育所	保育所	鉄筋 コンクリート	544 m ²	S54	37
子育て支援センター	子育て支援 センター	鉄筋 コンクリート	309 m ²	H28	0

⑦保健・福祉施設

《現在の状況》

- ・ 金武町総合保健福祉センターでは、一般浴室を運営しており、ろ過装置の改修を5年に1度行っている。施設の点検については毎年、専門業者に委託し、実施している。また、空調設備は旧環境基準下で整備されたため、改修が必要となっている。
- ・ 金武町フィッティングセンター、金武町海洋療法児童リハビリセンターはふるさとづくり整備事業にて整備され、平成26年に開業している。築年数が浅いため、老朽化の問題は無いが、雨漏りや施設内の排水構への土砂流出等の問題がある。施設の維持管理については、指定管理者制度を実施しているため、軽微な修繕等は指定管理者が行い、躯体や駐車場に係る修繕については町と指定管理者間で協議し、対応することとなっている。利用者からの要望のため、施設案内板の設置を検討する必要がある。

《今後の方針》

- ・ 金武町総合保健福祉センターの一般浴室については、ギンバル訓練場跡地に温泉施設が整備され次第、用途変更を行い、廃止する予定となっている。
- ・ 指定管理者制度を実施している金武町フィッティングセンター、金武町海洋療法児童リハビリセンターについては、指定管理者へ定期的な施設の点検を実施するように指導を行う。
- ・ 築年数が浅い施設についても、今後の老朽化に向けて、耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町総合 保健福祉センター	総合保健福祉 センター	鉄筋 コンクリート	3,377 m ²	H12	16
	増築分	鉄筋 コンクリート	62 m ²	H16	12
金武町 フィットニングセンター	フィットニング センター	鉄筋 コンクリート	1,693 m ²	H25	3
金武町海洋療法 児童リハビリセンター	海洋療法児童 リハビリセンター	鉄筋 コンクリート	845 m ²	H25	3

⑧医療施設

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金武町立診療所においては、指定管理者制度を実施し、指定管理者が施設の維持管理を実施している。平成19年に防水工事を実施しているが、築後38年が経過しているため、老朽化が進行している状態である。 ・金武町地域医療施設および金武町ヘルスケアセンターはふるさとづくり整備事業にて整備された。施設の運営は町から行政財産の使用許可を得た民間事業者が、施設の運営および維持管理に当たっている。 ・利用者からの要望のため、金武町地域医療施設、金武町ヘルスケアセンターの案内板の設置を検討する必要がある。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者へ定期的な施設の点検を実施するように指導し、施設の安全管理を行う。 ・築年数が浅い施設についても、今後の老朽化に向けて、耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。
--	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町立診療所	診療所	鉄筋 コンクリート	413 m ²	S53	38
金武町地域医療施設	地域医療施設	鉄筋 コンクリート	4,772 m ²	H25	3
金武町 ヘルスケアセンター	ヘルス ケアセンター	鉄筋 コンクリート	1,573 m ²	H25	3

⑨行政系施設

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役場庁舎、保健福祉課、住民生活課・農業委員会棟の老朽化が進行している。 ・ 各施設の点検、診断は業務委託により保守点検を行っている。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役場庁舎の老朽化対策として、耐用年数が経過後、建替えを検討している。費用の積立を行っており、建替えを実施する際は、他の施設と統合した複合施設も検討する。
--	---

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町役場	役場庁舎	鉄筋 コンクリート	3,504 m ²	S55	36
	議会棟	鉄筋 コンクリート	234 m ²	S 55	36
	3階増築部分	鉄筋 コンクリート	45 m ²	H16	12
	住民生活課・ 農業委員会棟	鉄筋 コンクリート	173 m ²	S 44	47
	有線 放送センター	鉄筋 コンクリート	162 m ²	S 50	41
	保健福祉課 (1階)	鉄筋 コンクリート	199 m ²	S 41	50
	保健福祉課 (2階)	鉄筋 コンクリート	86 m ²	S58	33
	倉庫①	鉄筋 コンクリート	109 m ²	H4	24
	倉庫②	鉄筋 コンクリート	40 m ²	H15	13
	上下水道課	鉄筋 コンクリート	165 m ²	S56	35

⑩公営住宅

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金武町営住宅は、平成 12 年に作成した金武町営住宅マスタープランを基に整備を行っている。現在は、7 団地に 173 世帯が入居している。 ・ 全ての住宅は新耐震基準にて整備されたため、耐震については問題は無いが、屋嘉団地と中川団地の老朽化が進行している。 ・ 各施設の点検、診断は業務委託により保守点検を行っている。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公営住宅への入居者希望の増加や老朽化のため、屋嘉団地と中川団地の建替えを行い、入居世帯数の増加を検討している。 ・ 平成 28 年度に公営住宅長寿命化計画を策定し、各住宅の長寿命化を図っている。今後は公営住宅長寿命化計画を基に施設の更新を実施する。
--	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町営住宅 屋嘉団地	A 棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S 59	32
	B 棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S 59	32
	C 棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S 59	32
	D 棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S 59	32
	E 棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S 59	32
	F 棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S 59	32

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町営住宅 中川団地	A棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S61	30
	B棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S61	30
	C棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S61	30
	D棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S61	30
	E棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S61	30
	F棟	鉄筋 コンクリート	129 m ²	S61	30
金武町営住宅 中川第2団地	A棟	コンクリート ブロック	137 m ²	H2	26
	B棟	コンクリート ブロック	125 m ²	H2	26
	C棟	コンクリート ブロック	137 m ²	H2	26
	D棟	コンクリート ブロック	137 m ²	H2	26
	E棟	コンクリート ブロック	124 m ²	H2	26
	F棟	コンクリート ブロック	137 m ²	H2	26
	G棟	コンクリート ブロック	142 m ²	H3	25
	H等	コンクリート ブロック	142 m ²	H3	25
	I棟	コンクリート ブロック	142 m ²	H3	25
金武町営住宅 浜田団地	A棟	鉄筋 コンクリート	2,226 m ²	H9	19
	B棟	鉄筋 コンクリート	2,410 m ²	H9	19
	C棟	鉄筋 コンクリート	2,207 m ²	H10	18

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町営住宅 中川第3団地	中川第3団地	鉄筋 コンクリート	1,982 m ²	H14	14
金武町営住宅 屋嘉第2団地	屋嘉第2団地	鉄筋 コンクリート	2,224 m ²	H15	13
金武町営住宅 並里団地	A棟	鉄筋 コンクリート	1,905 m ²	H16	12
	B棟	鉄筋 コンクリート	263 m ²	H16	12

⑪公園

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 16 施設については、各地区が指定管理者となり、園内の清掃等の維持管理を行っている。 ・ 屋嘉西児童公園は人目のつきにくい場所であるため、移転等の対策が求められている。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は軽微な修繕のみの対応で問題はないが、今後の老朽化に向けて、耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。また、遊具施設については、適切な点検・修繕を実施し、安全確保を行う。 ・ 遊具設置のため、屋嘉区へ場所選等の検討を行う。 ・ 金武地区公園、金武児童公園の遊具施設を整備予定である。 ・ ギンバル跡地整備の一環として、ギンバル海浜公園の整備を実施予定である。
--	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武児童公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	17 m ²	H4	24
	休憩所・倉庫	鉄筋 コンクリート	60 m ²	H14	14
	休憩所	鉄筋 コンクリート	50 m ²	H14	14
	東屋	鉄筋 コンクリート	20 m ²	H14	14
	東屋	鉄筋 コンクリート	20 m ²	H14	14

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
中川児童公園	屋外舞台	鉄筋 コンクリート	48 m ²	H21	7
大川児童公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	14 m ²	S59	32
	休憩所	鉄筋 コンクリート	14 m ²	S59	32
屋嘉西児童公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	9 m ²	S61	30
	東屋	鉄筋 コンクリート	10 m ²	S61	30
	展望台	鉄筋 コンクリート	63 m ²	S61	30
金武地区公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	12 m ²	H10	18
伊芸地区公園	休憩所	鉄筋 コンクリート	24 m ²	H10	18
	東屋	鉄筋 コンクリート	6 m ²	H10	18
	休憩所	コンクリート ブロック	20 m ²	H10	18
	トイレ	コンクリート ブロック	20 m ²	H10	18
浜田原公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	12 m ²	H5	23
モーシヌ森公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	15 m ²	H4	24
オランダ森緑地公園	東屋	鉄筋 コンクリート	20 m ²	S61	30
	トイレ	鉄筋 コンクリート	7 m ²	S61	30
伊芸海浜公園	管理棟	鉄筋 コンクリート	190 m ²	H19	9
	トイレ	鉄筋 コンクリート	50 m ²	H20	8
中川近隣公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	12 m ²	H3	25
	休憩所・倉庫	鉄筋 コンクリート	15 m ²	H17	11

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
上ヌ毛公園	展望台	鉄筋 コンクリート	20 m ²	H16	12
	トイレ	鉄筋 コンクリート	11 m ²	H16	12
がじまる公園	トイレ	鉄筋 コンクリート	12 m ²	H22	16
金武 アクティブパーク	管理事務所	鉄筋 コンクリート	82 m ²	H17	11
スポーツ広場	公衆浴場・ トイレ	鉄筋 コンクリート	10 m ²	H14	14
	休憩所	鉄筋 コンクリート	39 m ²	H14	14
仲畑慶原公園	東屋	鉄筋 コンクリート	22 m ²	H23	5
雄飛が丘 ふれあいガーデン	休憩所	木造	5 m ²	H16	12

⑫ 上水道施設

《現在の状況》

- ・平成 27 年度の施設稼働率は 50.8%であり、類似団体の平均指標 59.2%と比較すると、十分に余力があると言える。
- ・ギンバル訓練場跡地にホテル等の大型商業施設が建設された場合、水需要が増大することからギンバル跡地区への配水施設の整備が必要となる。
- ・老朽化に伴う修繕費用は、施設の耐用年数と経営状況に応じた費用の積立を検討している。
- ・日常的な施設の点検は職員によって実施している。

《今後の方針》

- ・耐震化診断が未実施の施設については、診断の実施を行う。
- ・ギンバル訓練場跡地整備に伴う水道需要の対応のため、甘喜原配水池の整備を行う。
(平成 32 年度に供用開始予定)
- ・平成 29 年度に水道ビジョンの策定を行い、計画的に水道施設の維持管理を実施する。現在は軽微な修繕のみの対応で問題はないが、今後の老朽化に向けて、耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。

第6章

施設類型毎の基本方針

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武浄水場	金武浄水場	鉄筋 コンクリート	153 m ²	S59	32
	ポンプ施設	鉄筋 コンクリート	72 m ²	S59	32
	水道資材倉庫	鉄筋 コンクリート	109 m ²	H2	26
並里浄水場	並里浄水場	鉄筋 コンクリート	110 m ²	S51	40
	管理室	鉄筋 コンクリート	44 m ²	H8	20
	管理室	鉄筋 コンクリート	16 m ²	H8	20
中川浄水場	中川浄水場	鉄筋 コンクリート	147 m ²	H6	22
	送水ポンプ室	鉄筋 コンクリート	9 m ²	H1	27
喜瀬武原浄水場	喜瀬武原浄水場	鉄筋 コンクリート	56 m ²	H14	14
屋嘉浄水場	屋嘉浄水場	鉄筋 コンクリート	276 m ²	S63	28
	ポンプ室	鉄筋 コンクリート	124 m ²	H10	18
	発電機室	鉄筋 コンクリート	5 m ²	H10	18
屋嘉導水ポンプ場	ポンプ室	コンクリート ブロック	20 m ²	H10	18
	発電機室	鉄筋 コンクリート	23 m ²	H10	18
	トイレ	鉄筋 コンクリート	5 m ²	H24	14
金武ポンプ場	送水ポンプ室	鉄筋 コンクリート	55 m ²	S47 以前	44 年以上
	宿直室	鉄筋 コンクリート	18 m ²	H2	26
大川水源ポンプ場	大川水源 ポンプ室	鉄筋 コンクリート	12 m ²	S52	39

⑬簡易水道施設（インフラ施設を含む）

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊芸区が管理、運営を行っている。伊芸地区簡易水道施設は昭和54年に建築されたため、耐震性や老朽化に問題がある。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊芸区と協議し、水道管も含め耐震化診断や劣化診断を行い、耐震化や老朽化対策を実施する。
--	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
伊芸地区簡易浄水道施設	沈殿地	鉄筋 コンクリート	22.5 m ²	S54	37
	緩速ろ過池	鉄筋 コンクリート	85 m ²	S54	37
	浄水池・ ポンプ室	鉄筋 コンクリート	59 m ²	S54	37

⑭ 下水道施設

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊芸地区は平成11年度に、屋嘉地区は平成24年度に供用開始されている。並里・金武地区は平成28年度に一部供用開始され、平成30年度に全面供用開始となる。 ・伊芸地区農業集落排水処理施設については、指定管理者制度を実施し、区が管理を行っている。各施設の点検は専門業者へ委託し、毎週実施している。 ・屋嘉地区、並里・金武地区については、加入率が低いため、維持管理費用の一部を町の税収に依存しているのが現状であり、加入率の増加が今後の課題である ・維持管理費用の削減のために、気候・加入率に見合う省エネ運転実証試験を琉球大学とともに実施中である。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋嘉地区については平成28年度に最適整備構想を策定し、効率的な機械設備等の取替、修繕を実施し長寿命化を図る ・施設の老朽化、人口増加対応として伊芸地区農業集落排水施設の処理施設、ポンプ施設の改築を平成28年～平成31年に実施する。
---	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
伊芸地区農業集落排水処理施設	農業集落排水処理施設	鉄筋 コンクリート	128 m ²	H9	19
屋嘉地区農業集落排水処理施設	農業集落排水処理施設	鉄筋 コンクリート	741 m ²	H22	6
並里・金武地区農業集落排水処理施設	農業集落排水処理施設	鉄筋 コンクリート	1,774 m ²	H25	3

⑮農業灌漑施設（排水路等のインフラ施設も含む）

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の整備は一部、沖縄県が実施しており、整備完了後は町へ移管されている。 施設の維持管理、点検診断は金武町土地改良区が実施している。修繕費用については、補助費として町が負担している。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> 受益者負担の考えから、利用料金の見直しを行う。
---	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
屋嘉地区灌漑施設	1号機揚水機場	コンクリートブロック	43 m ²	H21	7
	2号機揚水機場	コンクリートブロック	42 m ²	H21	7
	3号機揚水機場	コンクリートブロック	33 m ²	H21	7
宇謝/前原地区灌漑施設	ポンプ小屋	コンクリートブロック	133 m ²	H8	20
	水位調整弁小屋	コンクリートブロック	23 m ²	H8	20
	流量制御弁小屋	コンクリートブロック	19 m ²	H10	18

⑩その他

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆用トイレは毎日、職員によって清掃や故障箇所等の確認を実施している。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の老朽化に向けて、耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努める。
--	--

○対象施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積	築年度	築年数
金武町葬斎場	葬斎場	鉄筋 コンクリート	222 m ²	H15	13
金武火葬場	火葬場	鉄筋 コンクリート	291 m ²	S56	35
	車庫	鉄筋 コンクリート	40 m ²	H9	19
宮城原霊園	納骨堂	鉄筋 コンクリート	40 m ²	S60	31
	トイレ	鉄筋 コンクリート	43 m ²	S60	31
	トイレ	鉄筋 コンクリート	20 m ²	S60	31
シッチ霊園	トイレ	鉄筋 コンクリート	14 m ²	S60	31
屋嘉霊園	トイレ	鉄筋 コンクリート	14 m ²	S60	31
武田原 公衆トイレ①	トイレ	鉄筋 コンクリート	18 m ²	H12	16
武田原 公衆トイレ②	トイレ	鉄筋 コンクリート	13 m ²	H12	16
福花原 公衆トイレ①	トイレ	鉄筋 コンクリート	13 m ²	H11	17
福花原 公衆トイレ②	トイレ	鉄筋 コンクリート	13 m ²	H13	15
ごみ処理運営 管理小屋	管理小屋	鉄筋 コンクリート	19 m ²	H7	21
いしじゃ 公衆トイレ	トイレ	鉄筋 コンクリート	32 m ²	H10	18

インフラ系施設

①町道

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線道路については、整備が進んでいる状況だが、通学路などの生活用道路では、車両と歩行者の分離などの対策が必要な箇所がある。 ・ 職員によって、毎日、街路灯を含め町道の点検を行っている。 	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度に作成した町道舗装維持管理計画に基づいて、既存町道の修繕を実施する。 ・ 新規路線の整備や路線の拡張は住民の要望を踏まえて、行動計画を作成し、作成に基づき計画的に実施する。下記の事業は今後、整備が予定されている事業である。(平成28年度からの継続事業を含む)
--	---

実施予定事業	実施予定期間
町内道路側溝改修等改修工事	平成28年度～平成30年度
町道中川36号線整備工事	平成28年度～平成32年度
町道金武150号線整備工事	平成28年度～平成29年度
町道伊芸13号線整備工事	平成28年度～平成29年度
町道金武198号線整備工事	平成28年度～平成29年度
字謝進入路改修工事	平成29年度～平成30年度
町道金武92号線外1件整備工事	平成29年度～平成30年度
町道金武204号線外2件整備工事	平成29年度～平成30年度
町道屋嘉42号線整備工事	平成30年度
町道金武223号線整備工事	平成30年度～
街灯LED改修事業	平成28年度～平成30年度

②農道

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 整備が進んでおり、法面の改修や新規整備予定の路線はない。・ 職員による見回り点検を毎週行い、修繕箇所を確認を行っている。	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今後も職員による見回り点検を毎週行い、修繕箇所を確認を行う。また、修繕記録を管理し、効率的な維持管理に努める。
--	--

③橋梁

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 供用開始が40年～50年以上経過した橋梁が多く、補修や補強を実施しなければならない状況である。・ 定期点検の結果や、平成27年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修・補強を実施している。	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今後も定期点検の結果や、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修・補強を実施する。
--	--

④上水道管

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 耐用年数を基に上水道管の修繕、張り替えを実施している。	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none">・ ギンバル跡地整備に伴う水道需要の対応のため、上水道管整備を実施し、平成 32 年度に供用開始予定である。・ 建物系施設と同様に、平成 29 年度に水道ビジョンを策定し、計画的な維持管理を実施する。
--	--

⑤下水道管

<p>《現在の状況》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 平成 11 年度、24 年度、28 年度に供用開始されたため、現時点では老朽化の問題は無い。・ 油などの放流は詰まりの原因となるため、利用者へ注意喚起を行う必要がある。・ 台風等の災害時の後に、管路の破損状況や詰まりの確認を行っている。	<p>《今後の方針》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害時以外にも定期的な点検を実施することで、管路内の詰まりや破損を把握し、修繕対応を行う。
---	--

金武町公共施設等総合管理計画

平成 29 年 3 月

発行者：金武町役場総務課

〒904-1292

沖縄県国頭郡金武町字金武 1 番地

TEL : 098-968-2111 FAX : 098-968-2475